

地域みらいキャリア 2024

統合報告書



「地域みらいキャリア」とは

高校生が多様なキャリアや進路のロールモデルに出会う3つのプログラム。

“これから社会はどう変わっていくんだろう？”

自分らしく働いて生きていくには、どうすればいい？”

これからの学び方・働き方を、

とことん話せる仲間ができる、
相談できるいろんな大人と出逢える、

オンライン探究プログラムです



「地域みらいキャリア」とは

3つのコースのイメージ ※写真はすべてイメージになります。

高校1年生 みらい探究コース

“キャリア”の考え方、今の社会における“はたらく”をひも解きながら、ロールモデルにインタビューを行い、自己理解を深めます。未来の自分の生き方/働き方を探究するコースです。



高校2年生 まなび探究コース

“まなぶ”ってなに？を起点に、今ある最先端の“まなび”を知り、高校卒業後の選択肢を増やします。自分の視野や進路の可能性を拡げるコースです。



高校3年生 総合型選抜ゼミ

高校3年間の活動を振り返って整理し、自分だけの探究テーマと活動の社会的意義を言葉にして磨いていきます。難関大学の総合型選抜入試に挑戦したい人向けのコースです。



実施報告 -みらい探究コース-



1. 実施概要 「みらい探究コース」の目的とゴール

概要

「はたらく」「キャリア」について、**とことん探究する半年間のプログラム。**

「はたらく」「キャリア」について、考え、議論、探究し、**答えのない問いについて考えていく探究学習。**

多様な地域から集まる高校生メンバー、大人達（キャリアメンター、コーディネーター）、ゲストと出会い、
たくさん対話をし、自分の考えを深めていく。**半年間の考えを「最終発表会」で自分の言葉にし、発信をする。**

ゴール

参加者が

- ◆自分の未来にワクワクしている
- ◆"自分らしさ"を考え始めている
- ◆多様な働き方や仕事に関心が生まれている
- ◆働くことがポジティブになっている
- ◆地域で働く自分にワクワクしている
- ◆未来の姿を実現するためのネクストアクションを言語化できている

対象/ 定員

高校1年生 / 30名

授業日/ 期間

隔週火曜日 19:00~20:15



キャリアの言葉のイメージについて

「仕事」を主に触れていきますが、
生き方やあり方も含めたひとまわり大きな言葉の定義で進めたいと思います。

〓 ここがポイント 〓



キャリアや「はたらく」の最新情報を学べる



「自分について」「やりたいこと」を
いろいろな地域の高校生と対話できる



様々な大人やゲストから「はたらき方」「生き方」の話を
聞ける



キャリアのプロのメンターからアドバイスがもら
える

1. 実施概要「みらい探究コース」体制

こんな人たちがみなさんをサポート！



地域・教育魅力化
プラットフォーム

Platform for Sustainable Education and Community

「自分たちの未来は変えられると信じ、自ら挑戦できる意志ある若者に溢れる地域・日本づくり」をビジョンに都道府県の枠を越えて、地域の学校に入学する「地域みらい留学事業」や、県単位での人づくり・人の流れづくりのモデルを創る「しまね事業」を推進する団体

コーディネーター



授業に取り組む上で、課題や探究学習の方法などをサポートします！

キャリアメンター



総合人材サービスのパーソルホールディングス株式会社から「はたらく」や「キャリア」に詳しいメンターが参加者の学びをサポートします！



【1学期：6-8月実施（予定）】

【2学期：9-12月実施（予定）】

前半：キャリアとは？

授業

- ・キャリアとは？
- ・"はたらく"の未来
- ・多様な働き方



コーチング

- ・キャリアとは？
- ・"はたらく"の未来
- ・多様な働き方

中盤：ロールモデルと出会う

仕事図鑑（8-10月頃）

授業

- ・「仕事図鑑」とは？
- ・地域キャリア事例①
- ・地域キャリア事例②



コーチング

- ・地域キャリア事例①
- ・地域キャリア事例②

授業

- ・図鑑の作り方①
- ・図鑑の作り方②
- ・図鑑の作り方③



コーチング

- ・図鑑作りサポート
- ・図鑑作り実践／インタビュー
- ＊取材や編集の状況に応じてサポート

授業

後半："みらい"を描く

- ・自分自身を知る
- ・自分の"みらい"
- ・"みらい"と学び



コーチング

- ・自分自身を知る
- ・自分の"みらい"
- ・"みらい"と学び

12月・最終発表会
1月 PERSOL活動共有会

NO	実施日	テーマ	授業内容イメージ
1	6/4	「キャリア」とは？	これからこのプログラムで何に取り組んでいくか そもそも「キャリア」とは何かを改めて思考する
2	6/18	「キャリア」をデザインする	「キャリア」をデザインするとはどういうことか デザインする上で大切にしたい観点を考える
3	7/2	「はたらく」のいま、未来	「はたらく」の変化、昨今の動きを知り、 未来はどうなっていくかを考える（働き方）
4-8	7/16・7/30 8/20・9/3 9/17	【仕事図鑑】 ロールモデルに出会う／図鑑制作	地域のロールモデルに出会う（PERSOL社員など） 自身で選んだロールモデルに取材をして図鑑を制作 （言語化／アウトプットを通じてキャリアを考える）
9	10/1	「みらい」を描く①	事例との出会いを振り返り、改めて「自分自身」を知る 「みらい」を考え描き始める（後半スタート）
10	10/15	「みらい」を描く②	「みらい」を描く視点・観点を知る 発表会に向けてアウトプットイメージをインプット
11 12	10/29 11/2	発表会準備	発表会に向けた資料準備や発表会に関する案内など
発表	12/3	合同発表交流会@オンライン	「学び・進路」プログラムと合同の発表会 ゲストや仲間からフィードバックを受け、さらに探究を深める
13	12/10	リフレクション	発表会のリフレクション 全員参加のコンテンツはここで最終回

授業(第1・3火曜)

レクチャー
(19:00~19:30)
インプット

ゲストをお迎えして、テーマについて
お話を伺います。



ディスカッション
(19:30~20:00)
より深める・アウトプット

レクチャーを振り返りながら、
少人数で対話をし、
よりテーマに関する問いを深めてい
きます。

コーチング(第2・4火曜)

コーチング
(19:00~20:00)
生徒とのコミュニケーションの場

授業の続きの対話
宿題や授業の相談
※任意参加

各自の探求・宿題

最終発表準備
-個人発表「自分のみらいキャリア」-

チーム: A 名前: 滝口な

リフレクションシート 9月

<p>授業</p> <p>授業中、自分が思ったこと、感じたこと、学んだことをメモする。</p> <p>授業後の振り返り</p> <p>授業で学んだことを自分の言葉で表現する。</p>	<p>チームミーティング</p> <p>チームメンバーと話し合い、自分の考えを伝える。</p> <p>チームの目標や課題を共有する。</p>
<p>ゲストへの対話</p> <p>ゲストの話を聞き、自分の考えを伝える。</p> <p>ゲストの意見や質問に答える。</p>	<p>メンター</p> <p>メンターのアドバイスを聞き、自分の考えを伝える。</p> <p>メンターの意見や質問に答える。</p>

12月最終発表会—オンライン

1月 パーソル×CPF共創共有会

対面・選考あり

授業実施内容①

6/4
第1回

キャリアを考えるとは？

KEY WORD

- ・キャリア≠仕事・はたらく
- ・「はたらくことも含めた生き方そのもの」

6/18
第2回

はたらくの今、はたらくの未来①

KEY WORD

- ・キャリアデザインとは自分らしく、生きること
- ・キャリアデザインの多様化
 - リモートワーク・副業
 - テクノロジーの変化
 - 労働力減少
- ・社会はずっと変わり続けるので、変化の中で、何をするか、何をしたいかを柔軟に、そして自分らしく考えていくことが大切

7/2
第3回

はたらくの今、はたらくの未来②

KEY WORD

- ・自分らしく、はたらくためには、3つの輪が大事 (Will Can Must)
- ・Willを考えるためには経験と内省が大切
- ・分からなくなったら目の前のことを一生懸命やるで大丈夫！

 **みらいハイスクール**
Mirai High School by 

ワークショップ：キャリアとは何を考えることだろう？

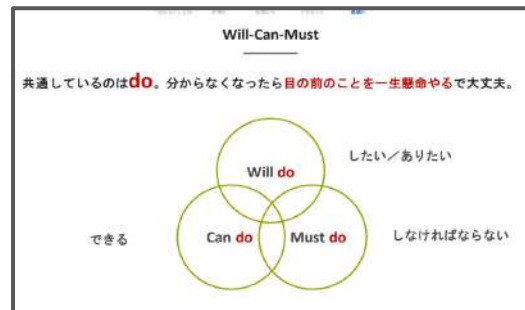
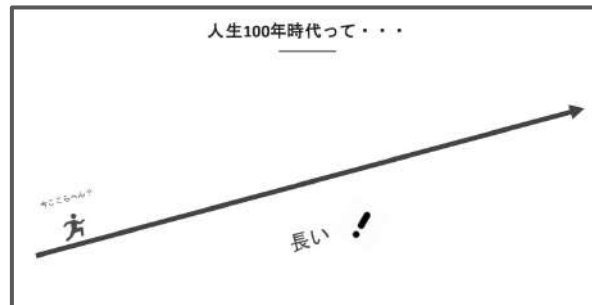
キャリア≠仕事・はたらく
「はたらくことも含めた生き方そのもの」
参考：パーソルホールディングス株式会社HP

・幸せなキャリアは？
・自分らしい生き方とは？
・自分で選択するために必要な力は？



このプログラムを通して
どんな問いを考えていきたいですか？

■キャリアという言葉の語源は、ラテン語で「荷馬車や四輪の荷車の通り道、輪(わだち)」を意味します。
それが次第に転じて、人のたどる行路やその足跡・経路・道程を意味するようになったと書われています。



7/16
第4回

【仕事図鑑①】インタビューを体験してみる

＼完成した仕事図鑑はこちらからご覧ください／

7/30
第5回

【仕事図鑑①】インタビュー練習をする

8/20
第6回

【仕事図鑑③】執筆ワークショップ

9/3
第7回

【仕事図鑑④】記事ブラッシュアップ

9/17
第8回

【仕事図鑑⑤】仕事図鑑の振り返り

KEY WORD

- ・人の話を聞くことで、自分の生き方について考える
- ・「新しい出会い」を楽しもう！



前編



後編



10/1
第9回

みらいを描く① 前半の振り返り

10/15
第10回

みらいを描く② 高校生活で行動したいことは？

KEY WORD

- ・自分のキャリアを言葉に。綺麗なまとまった言葉でなくてもOK
- ・いろんな越境をしてみよう。
- ・はたらくのイメージを膨らませてみよう。

10/29
第11回

最終発表会準備① 相手に伝わる発表づくり

KEY WORD

- ・相手に伝わるのはその人の生々しい体験から出てくる言葉
- ・等身大の言葉(素直な声)で伝える

11/12
第12回

最終発表会準備② リハーサル

12/3
最終発表会

発表テーマ: 自分のみらいキャリア



■概要

- 日時:12/3(火)19:00-21:00
- 場所:Zoom
- 内容
 - 前半:最終発表会(地域みらいキャリア・3学年合同)
 - 後半:みらいトークセッション
ゲスト:井手上 漠さん(タレント・島根県立隠岐島前高等学校出身)

■発表内容

- テーマ:「自分のみらいキャリア」
- 発表形式
 - 発表時間:3分
 - スライド:1枚
 - 必ず話してほしいこと
 - 自分のみらいキャリアを **キャッチコピー**にする
 - これからの **高校生活でのアクション**



自分のみらいキャリア

キャリアについて学び、様々な大人と出会って
どんな気づきや学びがありましたか？
わくわくしたことや自分もやってみたいことはありましたか？
このプログラムが終わる2024年12月の後、
どんな未来を歩みたい、何を学びたい、どんな経験をしたいと感じていますか？
高校生活で行動したいこと、挑戦したいことはありますか？
どんな大人になりたいと感じていますか？
「みらキャリア」を通して感じた「あなた」の未来を3分間で伝えよう！

▼発表形式
・発表時間:3分
・スライド:1枚
・必ず話してほしいこと
①自分のみらいキャリアを**キャッチコピー**にする
②**これからの高校生活でのアクション**



- 日時: 12月3日(火) 19:00~21:00

- 参加者(全体)

- 一部: 75人
* 運営スタッフも含む
- 二部: 95名

- 参加者の声

(参観者) 本校の生徒の発表だけでなく、他校の生徒さんの発表も聞かせていただきましたが、どの生徒さんも本当に視座が高いといえますか、(そう皆さんの手ほどきで成長したのだと思いますが) そうした生徒同士が距離の制約を越えて交流するという点において、今年は学年を跨いだ交流になっていた点が非常に印象的でしたし、よかった要因の一つかなと感じました。 **様々な大人・ロールモデルとの交流はとても重要だと思っていますが、やはり同年代の交流も非常に効果が高いと思います。** その中でも、今回のように少し年上・少し年下というのは、また重要な視点だなと思いました。

(メンター) 最初は何か大人らしい何かすごいことを言わなければいけないのかもしれないというプレッシャーを感じていましたが、 **大人が何を言わなくとも大人が思っている以上に生徒たちは多くのことを感じ、吸収していた** んだな、ということが最終発表会で気づきました。また、生徒の中にはこの **短期間でも変化や成長実感を持た** 生徒もいて、 **その変化や成長の機会に携われたことが何よりうれしかった** です。最終発表会では泣きそうでした。



目的

- ・ パーソル×CPFの2024年度共創活動を締めくくる場として、以下を目的とする。
 - ①2024年度活動内容共有（共創事業を通じて活動した高校生やパーソル社員の活動共有）
 - ②共創活動を通じて実現したいことを共有し、来期活動への期待・熱量を高める場とする。

実施概要

- ・ 実施日：2025年1月11日（土）14:00-17:30 （18:00完全撤収）
- ・ 会場：パーソル本社（南青山）
- ・ 参加者：パーソル（和田社長ほか共創メンバー）、CPF（水谷さん、悠さん、MHS関係者ほか）、学校関係者
：発表生徒（10名前後）、パーソルメンター（6名）、パーソル社員（参加希望者） 合計30-40名
- ・ 内容：
 - ①オープニング（CPF代表理事：岩本悠）【5分】
 - ①2024年度共創活動報告（CPF代表理事：岩本悠）【10分】
 - ②高校生活動事例紹介（24年度みらキャリ代表生徒＋昨年度生徒）：5分×10名前後【50分】
 - ③パーソル社員発表（みらキャリメンター）【20分】
 - 休憩-【10分】
 - ④グループダイアログ -10年後に実現したい「はたらいて笑う」私-【60分】
- * 混合グループ（3-4名:各グループ高校生1名ずつ）
 - ⑤クロージング（パーソルホールディングス株式会社 代表取締役社長：和田 孝雄）【5分】

■内容

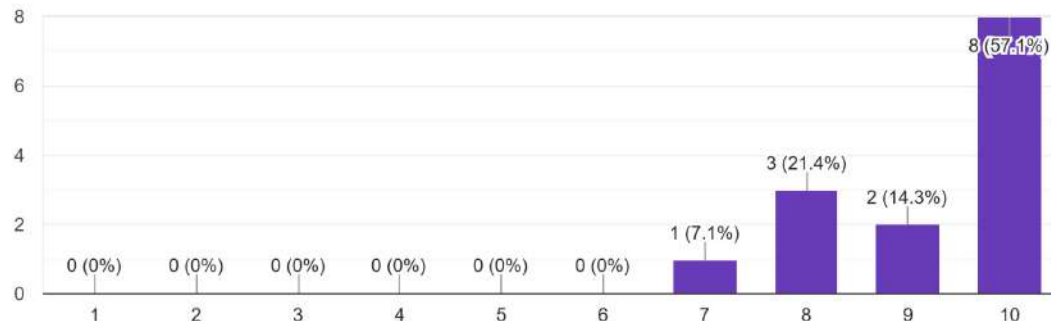
- ・キャリアに関する質問:15問(プログラム前にも実施)
- ・プログラムに関する質問:31問
- ・回答数:14名(プログラムに最後まで参加した人全員)
- ・アンケート内容

<https://forms.gle/L5gsXk26zifSNd6P9>

■【プログラム全体】に関する振り返り

プログラム全体の満足度を教えてください（学びの量...ターのアドバイス・運営に関わる人たち、など）

14件の回答



平均満足度:9.2

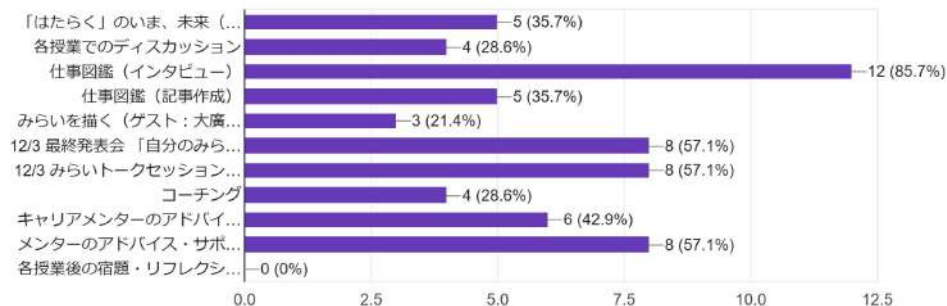
理由(一部抜粋)

- ・何もかもが自分の住んでいるところでは体験できない内容でとても刺激的でした！
- ・このプログラムはインプット→アウトプットのサイクルが多くて自分の考えを素早くまとめる力がつきました。
- ・ミラキャリアで学ぶことが多くて学んだことが生かされていると実感するし、最初に比べて成長したなと思ったからです。ミラキャリアがあったからこそ行動力がついたり「キャリア」について考えることができました！
- ・親身になって相談に乗ってくれたり、アドバイスをしてもらえたり色々助かった。アドバイザーの方々がいなければこんな素敵な仕事図鑑は作れなかった

■【プログラム全体】に関する振り返り

「地域みらいキャリアプログラム」の中でよかった...ンツを教えてください？（5つ回答してください）

14 件の回答



1 仕事図鑑:12ポイント

2 12/3 最終発表会・12/3 みらいトークセッション・メンターのアドバイス/サポート:8ポイント

理由(一部抜粋)

(仕事図鑑)インタビューの中で自分のこれからの生き方にじっくり合う言葉と出会えた

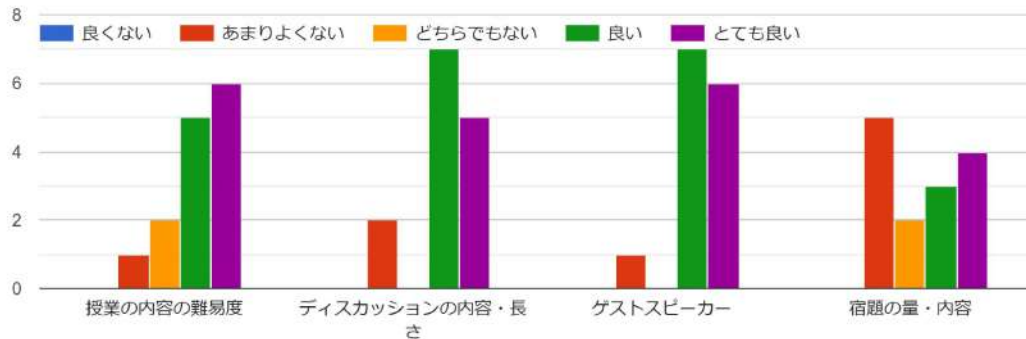
自分でアポを取って、自分でインタビューするといった、まだ私が経験したこと無いことができた。

(メンターのアドバイス/サポート)メンターさんのお言葉でスライド作成や記事作成が進んだ。

(各授業でのディスカッション)各授業、コーチングで同じグループの子やメンターの方と話すことで学びがたくさんあった。

■【授業】に関する振り返り

それぞれの項目についての感想を教えてください。



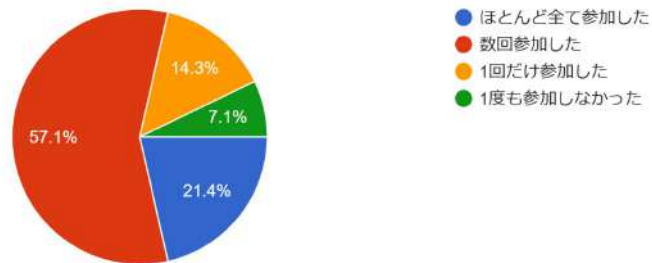
コメント(一部抜粋)

- ・他者の意見って前までは人は人って感じだったけど授業を通して「人ってどう思っているんだろう」とか人の意見を踏まえて自分の意見を伝える場所ってそんなになかったからとても成長できたところです。
 - ・キャリアを超えた「生き方」を考えることができました。
 - ・宿題は出されたけど、どう手をつけたらいいのかとかコーチングに参加しなくてもわかりやすく説明してほしいです。
- 宿題は量・質と共に改善の余地あり

■【コーチング】に関する振り返り

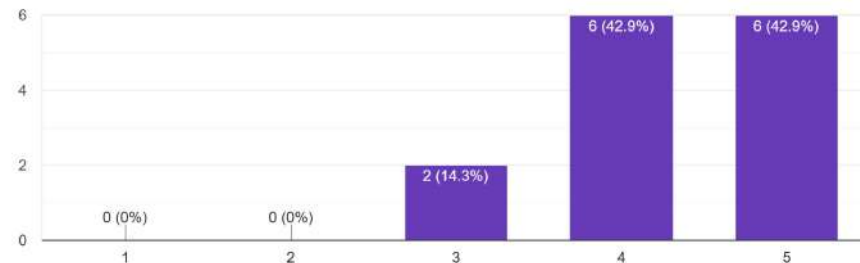
隔週で行われていたコーチングにどの程度参加していましたか？

14件の回答



コーチングの時間の満足度をおしえてください

14件の回答



平均満足度:4.2

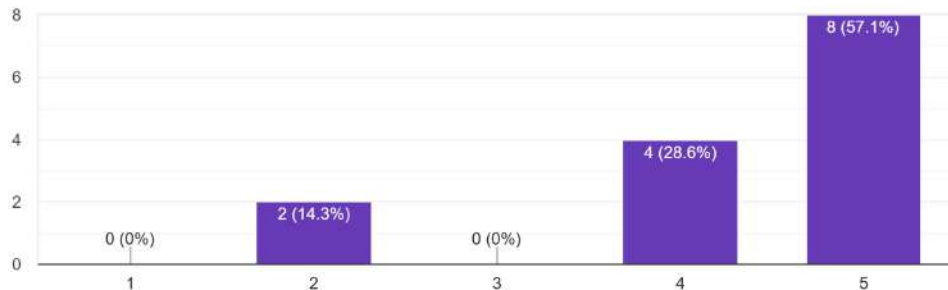
コメント(一部抜粋)

- ・授業を補えるゆとりがあるのはほんとにうれしいです。
- ・授業では関われなかった人と交流することができた。
- ・仕事図鑑を進める上で今後も役にたつようなお話を沢山聞けた。

■【仕事図鑑】に関する振り返り

仕事図鑑の時間の満足度をおしえてください

14件の回答



平均満足度:4.2

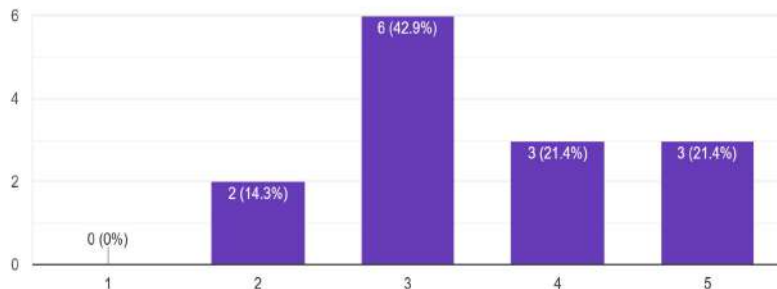
コメント(一部抜粋)

- ・今まで自分の軸ってなんだろうと思っていたけど、インタビューを通して、軸は気づかなくうちにできていると聞いて、**少しずつ自分の軸を探して行こうと思った。**
 - ・完成した時の**達成感**が大きかった。
 - ・文章を書くことが苦手なんですけど、**大人やチームの子に相談しながら進めるのは楽しかった**です。
 - ・私が他の予定と被っている時期だったのもありますが、時間が足りなかったです。
- 満足度が低い人は、時間の担保、学業との両立、作業量、作業ツール(Canva)に関しての負担についてコメントがあったため、量の調整や承諾書のやりとりはコーディネーター・事務局から行うなど生徒が実施する部分の精査が必要。

■【最終発表会】に関する振り返り

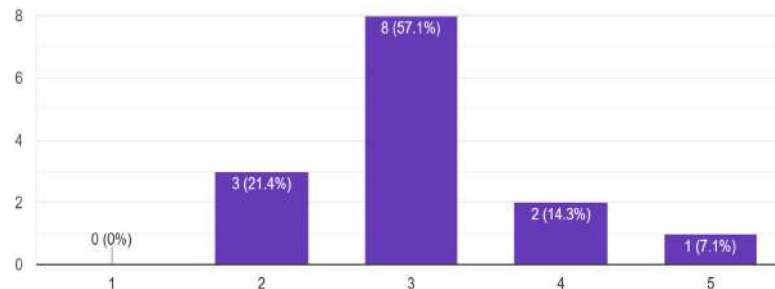
最終発表テーマの難易度はどうでしたか？

14件の回答



最終発表準備期間は十分ありましたか？

14件の回答

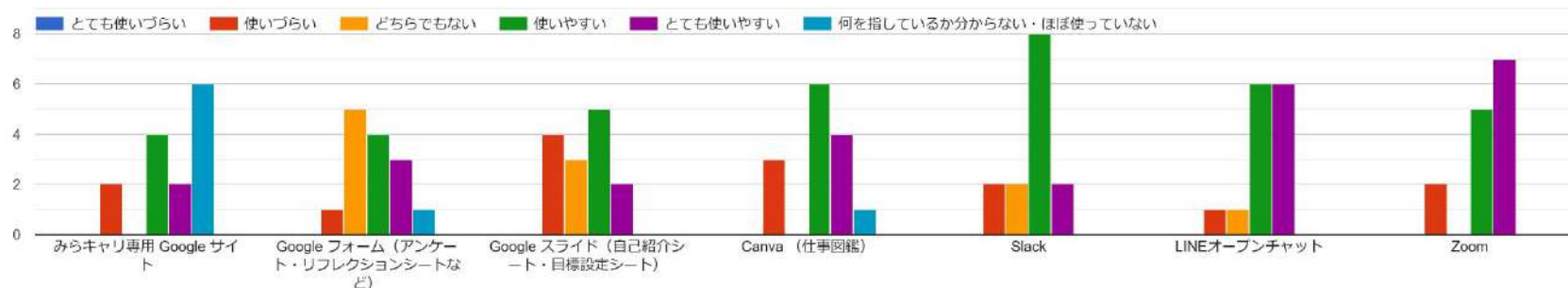


コメント(一部抜粋)

- ・今まで一緒に取り組んできた仲間や、先輩、家族や先生に意見をもらったのはとても大きかったです。
- ・最終発表会では堂々と自分の意見が伝えることができいて自信、そして次への一步の活力になりました。
- 個人的に普段お世話になっている方からのメッセージが嬉しかったです。そして初めての方にも自分の考えを伝えることができ自信になりました。自分を応援してくれる人がたくさんいて明日からも頑張ろうと思えました。
- ・自分の思いを言語化することの難しさを知りました。だけど、自分の言語化が拙くてもがんばって伝えようとすれば、意外と相手もわかってくれると感じました。これからも「伝えること」を大切にしていきたいです。

■プログラムで利用していた【ツール】に関する振り返り

それぞれの項目についての感想を教えてください。



・Googleサイトの認知・利用率は低く、情報を集約した掲示板の役割は他のツールを使うのが

※例えばコーディネーターの福村さんが途中にこのようなものを作ってくれましたが、これくらいシンプルなものの方が使いやすい生徒にとっては使いやすい。

<https://sites.google.com/view/miraicarrier-portal?usp=sharing>

・リフレクションや宿題のツールは Googleスライドよりフォームに切り替えた方が提出率が高く、記録として残す勝手としてはスライドの方が良いが、提出・実施を優先してフォームで実施をしていくのがよさそう。

・コミュニケーションツールは SlackよりもLINEオープンチャットの方が生徒にとっては使いやすいという結果。学年ごとにコミュニケーションツールを使い分けるなどの検討をしてもよい。

■質問内容一覧

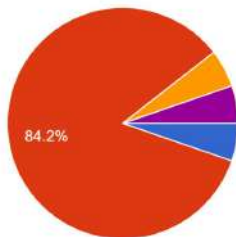
1. あなたは今、「はたらく」ということについてどのくらい考えることがありますか。次の選択肢から一番近いものを選んでください。
2. あなたは今、自分自身の「キャリア」についてどのくらい考えることがありますか。次の選択肢から一番近いものを選んでください。
3. あなたは将来の生き方や進路(進学や就職)に関わる次のような活動に関心がありますか？
4. あなたは将来の生き方や進路(進学や就職)に関わる次のような活動に取り組んでいますか？
5. あなたは将来の生き方や進路について、親(保護者)とどの程度話しあっていますか？
6. あなたにとって「仕事」や「働くこと」はどのようなイメージですか？
7. 仕事を選ぶ際に、どのようなことを重視しますか。この中からいくつでも選んでください
8. 職業を選ぶにあたって、次のことをどのくらい重要視しますか？
9. 「はたらく」ことや「キャリア」に関して、あなたがいま知りたい、深めたい「問い」はありますか。思いつくことをなんでも教えてください。
10. 「主体的な」キャリア形成とは、どのような姿だと思えますか？あなたか思いつくことをなんでも教えてください。
11. 「あなたらしい」はたらし方とはどのようなはたらし方だと思えますか？あなたが思いつくことをなんでも教えてください。
12. あなたは、「いま暮らしている地域」ではたらくことに関心はありますか？
13. あなたには今、「はたらく」を考える上で、【保護者以外で】ロールモデルとなる人(お手本となる人、その人から多くを吸収したいと思う人)はいますか？また、【あなたがいま暮らしている地域】に限定すると、そのような人はいますか？

1. あなたは今、「はたらく」ということについてどのくらい考えることがありますか。次の選択肢から一番近いものを選んでください。

■事前

1. あなたは普段、「はたらく」ということについて...の選択肢から一番近いものを選んでください。

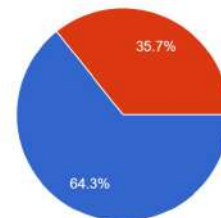
19 件の回答



■事後

1. あなたは今、「はたらく」ということについて...の選択肢から一番近いものを選んでください。

14 件の回答

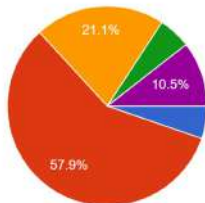


2. あなたは今、自分自身の「キャリア」についてどのくらい考えることがありますか。次の選択肢から一番近いものを選んでください。

■事前

2. あなたは普段、自分自身の「キャリア」について...の選択肢から一番近いものを選んでください。

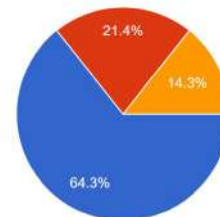
19 件の回答



■事後

2. あなたは今、自分自身の「キャリア」について...の選択肢から一番近いものを選んでください。

14 件の回答

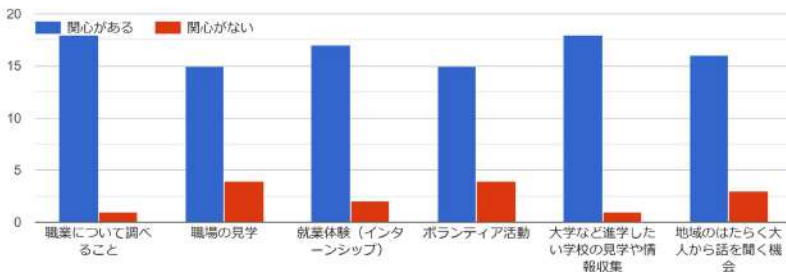


3. あなたは将来の生き方や進路（進学や就職）に関わる次のような活動に関心がありますか？

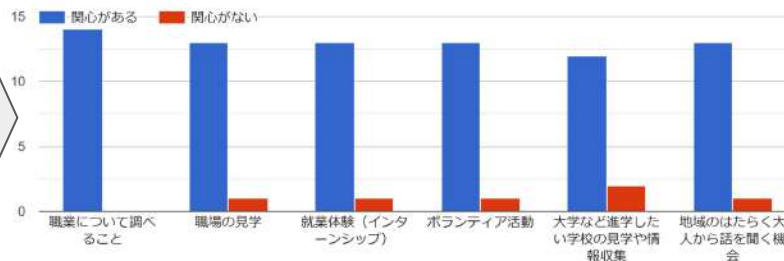
■事前

■事後

3. あなたは将来の生き方や進路（進学や就職）に関わる次のような活動に関心がありますか？



3. あなたは将来の生き方や進路（進学や就職）に関わる次のような活動に関心がありますか？

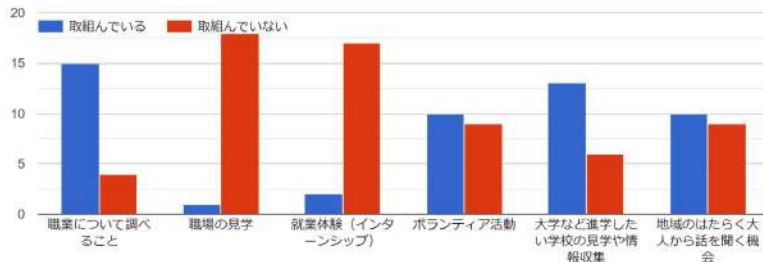


4. あなたは将来の生き方や進路（進学や就職）に関わる次のような活動に取り組んでいますか？

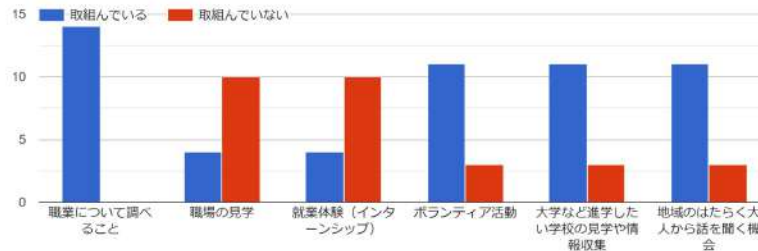
■事前

■事後

4. あなたは将来の生き方や進路（進学や就職）に関わる次のような活動に取り組んでいますか？



4. あなたは将来の生き方や進路（進学や就職）に関わる次のような活動に取り組んでいますか？



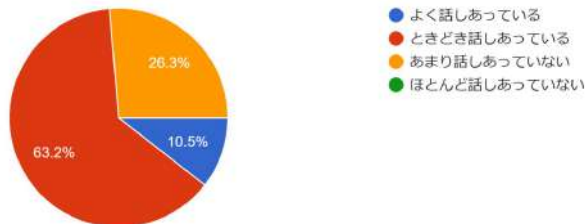
5. あなたは将来の生き方や進路について、親（保護者）とどの程度話しあっていますか？

■事前

■事後

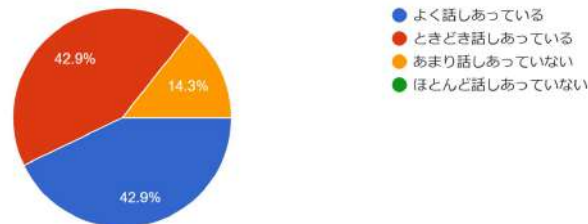
5. あなたは将来の生き方や進路について、親（保護者）とどの程度話しあっていますか？

19 件の回答



5. あなたは将来の生き方や進路について、親（保護者）とどの程度話しあっていますか？

14 件の回答

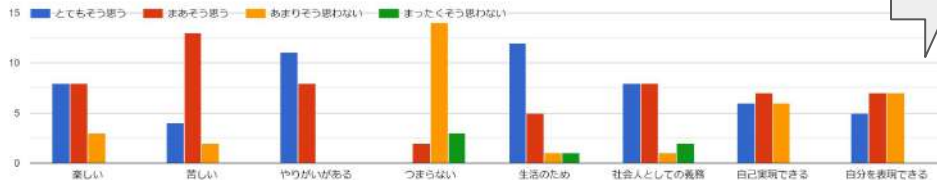


6. あなたにとって「仕事」や「働くこと」はどのようなイメージですか？

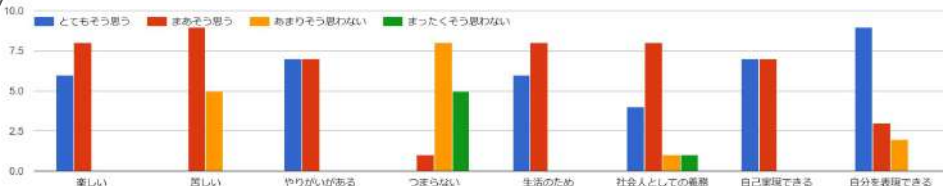
■事前

■事後

6. あなたにとって「仕事」や「働くこと」はどのようなイメージですか？



6. あなたにとって「仕事」や「働くこと」はどのようなイメージですか？



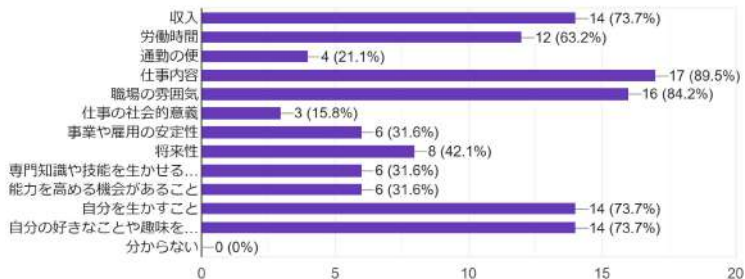
7. 仕事を選ぶ際に、どのようなことを重視しますか。この中からいくつか選んでください

■事前

■事後

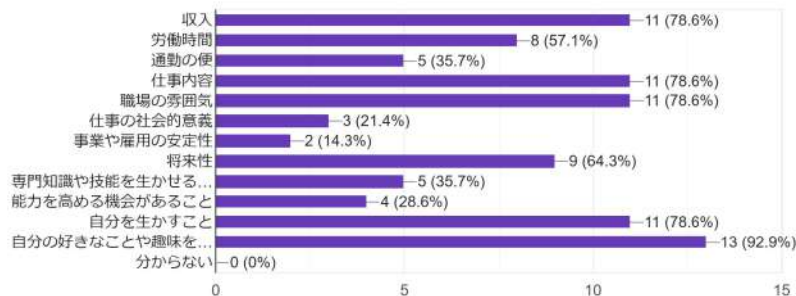
7. 仕事を選ぶ際に、どのようなことを重視しますか。この中からいくつか選んでください

19 件の回答



7. 仕事を選ぶ際に、どのようなことを重視しますか。この中からいくつか選んでください

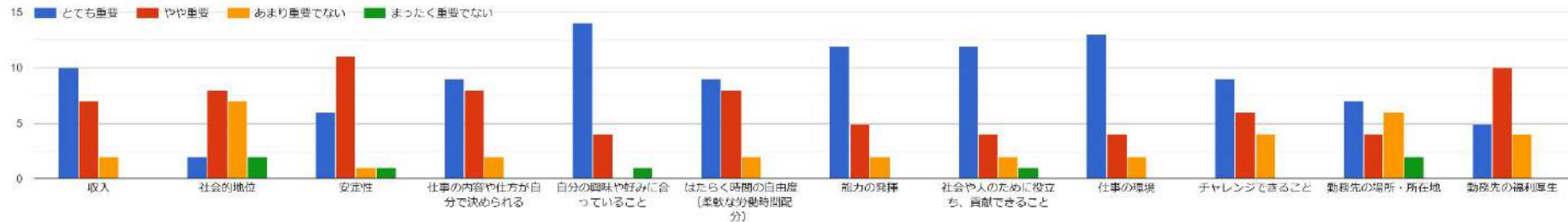
14 件の回答



8. 職業を選ぶにあたって、次のことをどのぐらい重要視しますか？

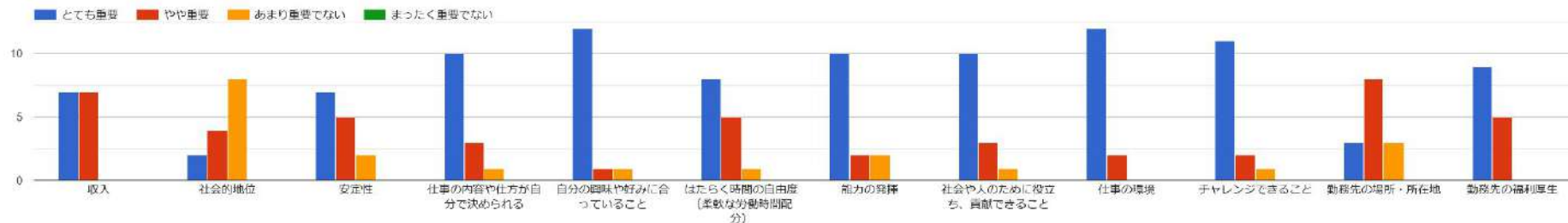
■事前

8. 職業を選ぶにあたって、次のことをどのぐらい重要視しますか？



■事後

8. 職業を選ぶにあたって、次のことをどのぐらい重要視しますか？



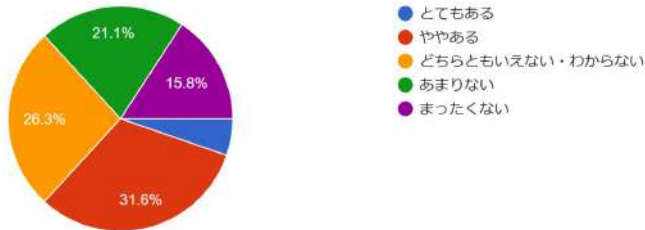
12. あなたは、「いま暮らしている地域」ではたらくことに興味はありますか？

■事前

■事後

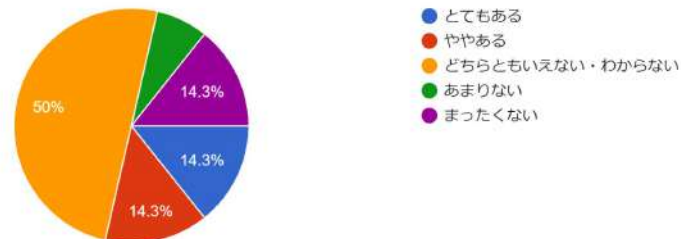
12. あなたは、「いま暮らしている地域」ではたらくことに興味はありますか？

19 件の回答



12. あなたは、「いま暮らしている地域」ではたらくことに興味はありますか？

14 件の回答

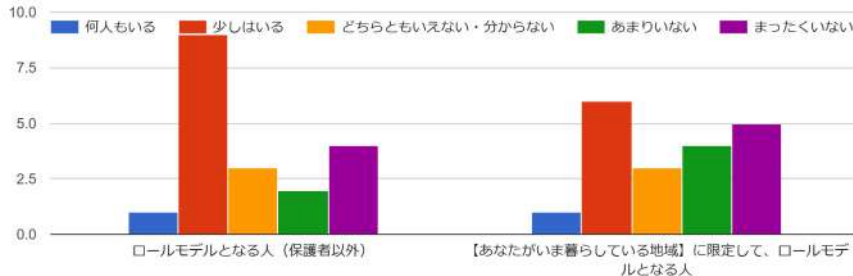


13. あなたには今、「はたらく」を考える上で、【保護者以外】ロールモデルとなる人（お手本となる人、その人から多くを吸収したいと思う人）はいますか？また、【あなたがいま暮らしている地域】に限定すると、そのような人はいますか？

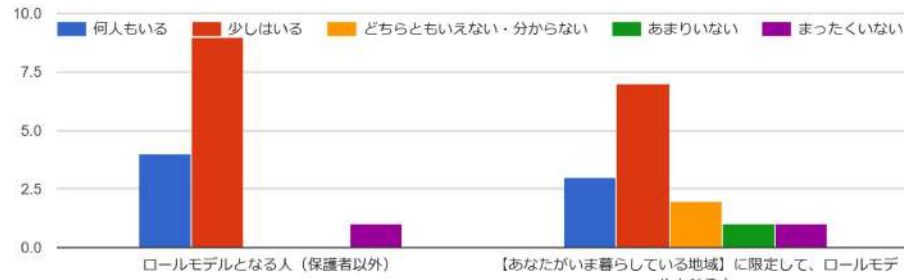
■事前

■事後

13. あなたには、「はたらく」を考える上で、【...地域】に限定すると、そのような人はいますか？



13. あなたには今、「はたらく」を考える上で、...地域】に限定すると、そのような人はいますか？



- 「はたらく」「キャリア」ということについてどのくらい考えることがあるか、という問いでは「たまに考える」から「よく考える」に変化した数値が大きかった。本プログラム参加生徒は、プログラム前からキャリアに関する関心が高いが、さらに考える機会が増える機会となった。
- 生き方や進路（進学や就職）に関わる問いでは、プログラム前では興味があるが進路に関する具体的な活動をしていない回答が多かったが、プログラム後では本プログラムも含め進路に関する具体的な活動をしている回答が増えていた。特に「大学見学」「地域の大人と話す」の項目が伸びており、本プログラムや並行して「みらたび」に参加した生徒もあり、本プログラムをきっかけに進路に対する行動の幅が増えてたと考えられる。
- 働くことのイメージに対する問いでは「楽しい」「自己実現できる」「自己表現をできる」といったポジティブな面の変化が大きかった。
「未来にわくわくする」という「みらキャリア」のゴールが達成できたと言える。前の問いの結果で、仕事やキャリアについて考える機会がプログラム前後では増えた結果となったので、様々な人と出会い話を聞いたことで「働くこと」に対する解像度が上がったうえで、ポジティブなイメージがついていると言える。
- 「「主体的な」キャリア形成とは、どのような姿だと思いますか」という記述の問いでは、プログラム前後での言語解像度の大きな変化は見られない。本プログラムを通して考えるきっかけや、最終発表会に向けて自分の答えを産み出す経験はできたといえるが、1年生時の半年のプログラムでは足りない部分もあるため、学年に応じて継続した場が必要であると考えられる。

- 「みらいキャリア」は、**自分自身の成長と人との関わり方も学べたり**、将来の私が興味ある職とかそういうのにもわかりやすく説明してくれたからすごく良かったです。仕事図鑑はすごく将来の為にもなるなって思いました。
- みらキャリアを通して、いろんな大人のお話を聴いたり、他の高校生と交流をしたりしてして、アドバイスをもらい**「自分が何をしたいのか。それはなぜなのか」**という考えを深めることができました。
- **いろんな大人や全国各地の同級生と出会うことができる良い機会**でした。キャリアについて深く考えられる、これからに繋げることができるプログラムなので最後まで頑張っていました。
- 初めはほんとにやっていたいけるか不安でした。私は途中参加だったし、加えて知ってる人が1人もいない状態でした。探究で有名な学校さんたちが沢山いて、この中でやっていたいけるのかとても不安でした。けど、**メンターさんたちやなによりチームのメンバーがいたから**こそ不安要素はどんどん無くなっていきました。**自分でなんとかする力がついたり、語彙力が上がりました。**

- 本プログラムのメンターとして参加をして、**私自身の訊く力及び柔軟性の向上の成長になった**という点で、学びになったと感じます。訊く力に関しては、生徒の表面上の言葉から、何を考えているのか、どんな感情なのかを、問いかけることを通じて探り、言語化することで、生徒自身が考えを整理する一助になったのではないかと考えています。柔軟性については、今回のみらキャリを通じ、いい意味で準備が通用しない難しさを知りました。事前に生徒との想定問答を用意していたとしても、生徒の表情や反応によって、ファシリットの進め方を変えることが必要でした。その時々状況に応じて、対応を考えたり、時間の使い方を変えたりすることは、メンターとして苦労した点であった一方、**メンター自身の柔軟性やファシリテーション力の向上に寄与した**一面があったのではないかと考えております。
- 社会人でも同じことが言えますが、生徒によって様々な個性があるので、**その一人一人の個性や特徴に合わせたFBをすることが、難しくもありとても勉強になりました。**また、最終発表会を終えて、チームの生徒が全員とてもいい表情をしていた様子を見て、とてもいい形で進めてこられたのかもしれない、とやっと実感というか自信を持てた気がします。終わってみないとこれまでの関わりがよかったのかどうかが見えてこないところが難しいなと感じました。
- 最初は何か大人らしい何かすごいことを言わなければいけないのかもしれないというプレッシャーを感じていましたが、**大人が何を言わなくとも大人が思っている以上に生徒たちは多くのことを感じ、吸収していたんだな、**ということが最終発表会で気づきました。また、生徒の中にはこの**短期間でも変化や成長実感を持てた**生徒もいて、**その変化や成長の機会に携われたことが何よりもうれしかった**です。最終発表会では泣きそうでした。

- 高校生のパワーはこんなにも力強いのかと思いました。みらキャリアやパーソルの皆さまのビジネススキルには多く学ばせていただきました。普段、業界外の方と接することが少ないので、進行管理やコミュニケーションの取り方など、自分のビジネスパーソンとしてのAs is to beを確認できました。
- 高校生のチャレンジから刺激を受けることができた。また自分自身もキャリアについて振り返るきっかけとなった。仕事図鑑など他の地域での取り組みも知れたりと新しい発見も多くあった。
- 生徒たちの最後のやり切った表情を見て、改めて良いプログラムだと感じました。

- **プログラム全体(事務局・メンター・コーディネーター)**

- 企画面においては、高校生は、パーソルその他ゲスト等いろいろな働き方に触れ、キャリア観が広がるきっかけになった。
- 仕事図鑑や最終発表会の成果物があり「やり切った」という経験が持てる
- 途中からチーム制になり、定点観測的に成長のフィードバックができるようになった(チーム制でなかったときは、毎度メンバーの情報を見にいかねばならず、至らない点に反省するタイミングが多かった上に、アイスブレイクに時間が取られてしまった。)
- 最後までやり切るというのを運営側が持っているのがよかった。

- **仕事図鑑(まなびのみなど)**

- 当初の目的であった仕事図鑑のクオリティにこだわるの部分については、一定程度のクオリティのものができ、HPにも掲載ができた。
- 15名分の仕事図鑑が完成し、自分のインタビューをした人だけではない、多様な大人のロールモデルに触れる接点をつくることができた。

● プログラム全体(メンター・コーディネーター)

- チーム体制でない最初の時期は生徒の定点観測が難しい
→生徒の性格やエンゲージメントなどバランスを考えたチームづくりのために、オリエンテーションで生徒の様子を見る回にし、それ以降はチーム制にするのが生徒をよく見れる。
- メンター・コーディネーター間の情報共有が難しい。メンターがGoogle関連が見れないことにより、見えづらい情報が多い(特に仕事図鑑の進捗状況・成果物の状況)
→生徒との情報共有を考えるとGoogleを利用することにはなるため。ツールの変更は難しい。特に仕事図鑑の進捗の様子が見れないのがメンターにとっての不安要素が大きい。この点はコーディネーターの役割であるため、役割の握り直しやメンター・コーディネーター間の情報共有をできる仕組みを考える。昨年はコーディネーター・メンターが実施をするチームミーティングがあったのでコーディネーターとメンターの共有がより密であった。
- コーディネーター、メンターのファシリテーションスキルが個人に依存していたのでマニュアル等があるとよい(2023年度のマニュアルをもっと活用すべきであった)
- メンターとコーディネーターの役割分担は後半になるにつれて定着してきたが、最初からもう少し分かりやすいとよい。
- メンターの稼働の増加。当初は「隔週1時間」のみのコミットという案内だったが、チャットでの進捗確認や細かなフォロー、臨時のzoomなどパーソル側の役割が拡大したように思う。
→パーソル公募時の募集要項はみらいキャリア事務局でも確認をした方がよい。タスクの要件定義は精査する前提で、変動要素も多いため「一緒に運営をつくってくれる」というようなスタンスも大事。

● プログラム全体(事務局)

- メンター・コーディネーターの配置。について今回は人数が違いチーム制にシフトした時にPMの三矢がコーディネーターとして入ったが、コーディネーターがさらに欠けるといいうレギュラーもあったので、PMが最初からプレイヤーに入らないような体制にしておく。また、メンター・コーディネーターの稼働についての依頼はPMも認識をしておいた方が、PMとメンター・コーディネーター間の依頼がスムーズ。
- 生徒募集が上手く集まらず、説明会予定が当初の予定よりも倍になるなどプログラムへの影響は大きかった。生徒募集についてはプログラム運営の方からはタッチできない体制になってしまっているため、生徒募集の振り返りは課題・原因を考えて振り返りの必要がある。また生徒募集時はPMにも募集状況がわかるようにミーティング等で連携をする。
- コミュニケーションツールについては使い分けが必要。コーディネーター・事務局と生徒の練習がSlackでは滞っているケースが見られたことや、生徒アンケートより、LINEオープンチャットの利用のしやすさの回答もあり、柔軟なツール検討がプログラム運営の円滑さに繋がると考える。
- 欠席・途中離脱の生徒についてのフローを決めておく。
例:ステップ1 Slackで2週間連絡が取れない or 授業を2回連続無断欠席する→PMから電話・メール連絡
ステップ2 学校関係者に連絡(対応期間2週間を目安)・メールでプログラム継続に関する注意喚起
ステップ3 プログラム継続に関しての最終通知をメールで行い、返事がない場合は離脱

- **仕事図鑑(まなびのみなど)**

- 今後の仕事図鑑の利用について要検討
→まずは、みらキャン内の活用。事業連携のアイデアとしては「みらたび」で仕事図鑑の人に会いに行く、というようなスキームなど。
- ボリュームが多く生徒の作業負担・運営の確認工数が高い
→仕事図鑑の内容に必要な要素の再定義(今回場合2枚目のプロセス部分は不要)
→仕事図鑑の作業に必要な要素の再定義(今回の場合、許諾書等は事務局・コーディネーターが確認するなど記事制作にコミットしてもらえるような仕組み)
- 仕事図鑑制作のツール(Canva)に苦戦をする生徒が多かった
→生徒はGoogleフォームで内容提出、Canvaへのデザインはまなびのみなど、などの分担を検討

実施報告 -学び探究コース-



〓 ここがポイント 〓



様々な「**学び方**」「**進路**」のロールモデルに出会える



自分の「**学びたいこと**」「**やりたいこと**」を
言語化するためのヒントが知れる



大学生の先輩と高校卒業後の学びについて対話できる



自分にとって「**学ぶ**」とは何かに気付くきっかけがある

「こんな人たちがみなさんをサポート」



地域・教育魅力化
プラットフォーム

Platform for Sustainable Education and Community

「自分たちの未来は変えられると信じ、自ら挑戦できる意志ある若者に溢れる地域・日本づくり」をビジョンに都道府県の枠を越えて、地域の学校に入学する「地域みらい留学事業」や、県単位での人づくり・人の流れづくりのモデルを創る「しまね事業」を推進する団体

メンター



山本竜也(ヤマタツ)

#総合型選抜指導
#教育コーディネーター



木村有希(ゆきむ)

#マイプロ
#探究学習デザイン

その他
進路や学びに詳しい
コーチが
参加者をサポート

大学生/社会人ゲスト



大学生や学びのロールモデルとなる社会人ゲストが毎回参加!

NO	実施月	テーマ（仮称）
1	8/7	ガイダンス 学ぶって何？学びをデザインする
2	8/21	進路ってどう決める？ 高校と大学の学びの違い
3	9/4	学ぶ姿勢をつくる：学びのデザイン
4	9/18	高校卒業後の学び①：大学での学び
5	10/2	高校卒業後の学び②：大学での学び
6	10/16	高校卒業後の学び③：大学での学び
7	10/30	進路を決める時のあなたのバリューは？ これまでのロールモデルや学びをふりかえる
8	11/13	発表準備
9	12/3(火)	最終発表
10	12/11	ふりかえり

8月21日(水) 授業 「進路ってどう決める？高校と大学の学びの違い」

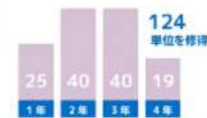
大学での学びの深まり方 —大学生の1週間の過ごし方—

	月 25	火 26	水 27	木 28	金 29	土 30	日 1
08:00~	授業(必修科目)					スポーツ実習(選)	授業(必修科目)
授業時間	自由—の時間(1)		自由—の時間	自由—の時間		自由—の時間	自由—の時間
午飯時間	自由—の時間(2)		自由—の時間	自由—の時間		自由—の時間	自由—の時間
授業時間	自由—の時間(3)		自由—の時間	自由—の時間		自由—の時間	自由—の時間
授業時間	自由—の時間(4)		自由—の時間	自由—の時間		自由—の時間	自由—の時間
授業時間	自由—の時間(5)		自由—の時間	自由—の時間		自由—の時間	自由—の時間
授業時間	自由—の時間(6)		自由—の時間	自由—の時間		自由—の時間	自由—の時間
授業時間	自由—の時間(7)		自由—の時間	自由—の時間		自由—の時間	自由—の時間
授業時間	自由—の時間(8)		自由—の時間	自由—の時間		自由—の時間	自由—の時間
授業時間	自由—の時間(9)		自由—の時間	自由—の時間		自由—の時間	自由—の時間
授業時間	自由—の時間(10)		自由—の時間	自由—の時間		自由—の時間	自由—の時間
授業時間	自由—の時間(11)		自由—の時間	自由—の時間		自由—の時間	自由—の時間
授業時間	自由—の時間(12)		自由—の時間	自由—の時間		自由—の時間	自由—の時間
授業時間	自由—の時間(13)		自由—の時間	自由—の時間		自由—の時間	自由—の時間
授業時間	自由—の時間(14)		自由—の時間	自由—の時間		自由—の時間	自由—の時間
授業時間	自由—の時間(15)		自由—の時間	自由—の時間		自由—の時間	自由—の時間
授業時間	自由—の時間(16)		自由—の時間	自由—の時間		自由—の時間	自由—の時間
授業時間	自由—の時間(17)		自由—の時間	自由—の時間		自由—の時間	自由—の時間
授業時間	自由—の時間(18)		自由—の時間	自由—の時間		自由—の時間	自由—の時間
授業時間	自由—の時間(19)		自由—の時間	自由—の時間		自由—の時間	自由—の時間
授業時間	自由—の時間(20)		自由—の時間	自由—の時間		自由—の時間	自由—の時間
授業時間	自由—の時間(21)		自由—の時間	自由—の時間		自由—の時間	自由—の時間
授業時間	自由—の時間(22)		自由—の時間	自由—の時間		自由—の時間	自由—の時間
授業時間	自由—の時間(23)		自由—の時間	自由—の時間		自由—の時間	自由—の時間
授業時間	自由—の時間(24)		自由—の時間	自由—の時間		自由—の時間	自由—の時間
授業時間	自由—の時間(25)		自由—の時間	自由—の時間		自由—の時間	自由—の時間
授業時間	自由—の時間(26)		自由—の時間	自由—の時間		自由—の時間	自由—の時間
授業時間	自由—の時間(27)		自由—の時間	自由—の時間		自由—の時間	自由—の時間
授業時間	自由—の時間(28)		自由—の時間	自由—の時間		自由—の時間	自由—の時間
授業時間	自由—の時間(29)		自由—の時間	自由—の時間		自由—の時間	自由—の時間
授業時間	自由—の時間(30)		自由—の時間	自由—の時間		自由—の時間	自由—の時間
授業時間	自由—の時間(31)		自由—の時間	自由—の時間		自由—の時間	自由—の時間

【池田の場合】

実家から通学：約1時間半
バイト週4日：週15時間
サークル活動：平日昼休み
授業：週15コマ(90分)

例) 放送大学



だから、一般的な大学と同じ卒業資格を得られます。

ワーク

大学を調べてみよう

大学

大学ポートレート

大学基準協会（特色検索）

<https://portraits.niad.ac.jp/>

https://www.juaa.or.jp/case_study/

学部

大学HP＞学部・学科情報（受験生サイト）

〇〇大学＋〇〇学部

授業

学部HP＞コース紹介＞カリキュラム概要

〇〇大学＋シラバス検索

教授

research map

<https://researchmap.jp/researchers>

9月4日(水) 授業 「自分の学びをデザインする」

探究 240904第1回3授業

さとのば大学の概要

さとのば大 SATENOBABA UNIVERSITY

地域を旅する大学
『さとのば大学』



講師 さとのば大学

探究 240904第1回3授業

さとのば大学の沿革

通信制大学とのダブルスクールで学士取得も可能

地域を旅する大学
さとのば大学

ネットの大学
managara
Niigata Sangyo University

ネットの大学managaraとは提携を結び、「地域イノベーターコース」として共同運営しています。地域留学しながら、スマホやタブレットでの動画視聴で、**経済学士号の取得**が目指せます。

※managara以外の通信制大学とのダブルスクールや、さとのば大学のみの受講も可能です。ダブルスクール先の大学にはご自身で出願手続きが必要です。

「どこに向かって学ぶのか」

ワークショップ



◆そもそも 学んで どこに向かって学ぶのだろう？

- A 自分のことが 好きになれる(ちょっとずつ)
- B ちゃんと食べていける感覚、仕事力が身に付くので会社員として生きていける感
- C 仕事を楽しめるところまで、ハックする力が身に付くから、会社員としても
楽しみきれる感覚になれる
- D ガシガシ稼げる、インパクト出せるので、「ワークとライフを分けて」
好きなワークで 必要とされて、家族もつくれて幸せな生活イメージができる
- E 社会課題解決に向けて、自分の人生を使って、仲間とともに、
ちょっとずつでも変化を生み出せる ライフに向けて動いていける。
- F へんてこ世界観 を体現できる面白人材として、人のあり方の選択肢を増やせる
- G なるべく簡単に楽しくお金もらって平和に過ごしたい
- H センス・オブ・ワンダーで、生きていることを楽しむのがうまくなる

9月18日(水) 授業 「高校卒業後の学び①～富井優花さん (慶応義塾大学)～」



共通点 (高校&大学)

今を後悔なく生きること

未来や過去だけ
ではなく「**今**」も
大切に生きる

いつまでも笑顔で
幸せに生きるために、
尊い命を救うための防災
で身近にいる
大切なひとを守る




10月2日(水) 授業

「高校卒業後の学び②～渡邊しほさん(岡山大学) 藤本紅葉さん(都留文科大学)～」

まなび探究_241002第5授業

岡山大学



- ・入学のタイミングで工学部があたりしくなり、建築分野が追加される
- ・木質建築に力をいれた教育をすると、宣伝されていた
津和野で木造住宅に住み、近くに山がある環境になり、木の良さを感じていた
- ・学校推薦型選抜があり、面接・口頭試問のみで学科試験が必要ない
- ・キャンパスが岡山駅から近く、立地が良い

まなび探究_241002第5授業

高校卒業後の進路選択

- ・なんとなく中四国・関西・九州の国公立大学で範囲を絞っていた
- ・自分の周囲に一般で受験する人があまりおらず、モチベはあまりなかった
- ・学校推薦型で行ける大学を探してみる

● 自分の中の条件

- ・一人暮らしができる
- ・そこそこいい大学
- ・田舎過ぎない立地

10月2日(水) 授業

「高校卒業後の学び②～渡邊しほさん(岡山大学) 藤本紅葉さん(都留文科大学)～」

まなび探究_241002第5回授業

自己探究

大学進学に関わるだけでなく、
生活面や精神面のことまで

例えば、、、

- ・自分が幸せだと感じる瞬間は？
- ・楽しいとは何か
- ・自分の経験からどんな成長があったか

まなび探究_241002第5回授業

国際教育学科とは、

IB 国際バカロレア教育

国際的な視野を持つ人を育てる

地球規模での探求

教科横断型の授業

ex) 英語で体育の授業

ex) 日本の学力が
下がっていることに
対するアプローチ方法

10月16日(水) 授業


「高校卒業後の学び③～今泉理子さん (ビジネスブレイクスルー大学)

佐藤舞紘さん (エセクター大学)～」

高2まなび探究 241016第6授業

他の特徴

- グループワーク 必須の授業が割とある
- 7割が社会人
社会人ではない→**専業学生**
- いつでもどこでも勉強できる
→**課外活動**を積極的にできる
→日中働き、夜と休日勉強
- 経営者の教授が多い

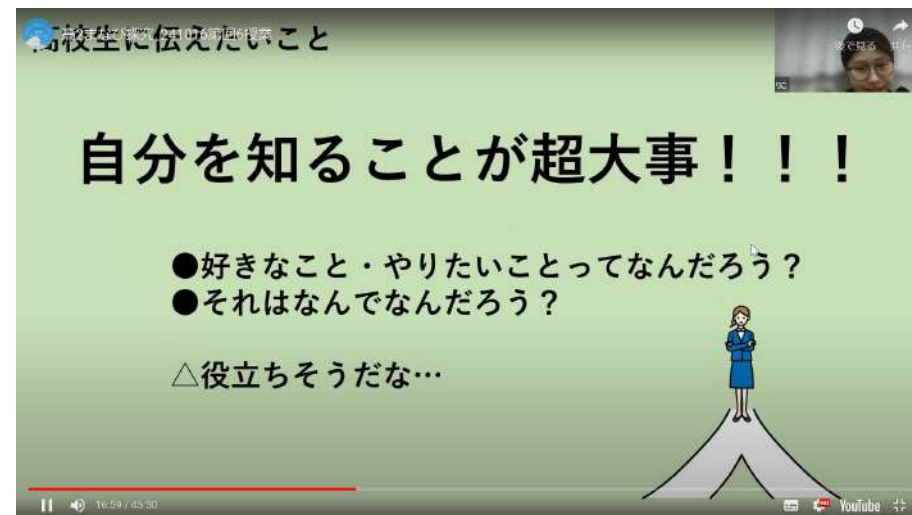



高校生に伝えたいこと

自分を知ることが超大事！！！！

- 好きなこと・やりたいことってなんだろう？
- それはなんでなんだろう？

△役立ちそうだな…



10月16日(水) 授業

「高校卒業後の学び③～今泉理子さん (ビジネスブレイクスルー大学) 佐藤舞紘さん (エセクター大学)～」

高2まなび探究 241016第6回授業

なんで海外大学?

02 卒業後の進路を見据えて? 国内 一口世界中どこでも




@ maitro_0712

安定 一口挑戦

□大企業 — ベンチャー

□チーム — 個人 年功序列 一口実力主義

□私生活 — 仕事時間 自分がしたいこと 一口できること

一緒に働きたい人: ポジティブな人 よく笑う人 人を見下さない人 幸せな人



高2まなび探究 241016第6回授業

メリット・デメリット

03 海外に挑戦すると..

Advantages

- 語学力が身に付く
- 価値観が広がる
 - 他者を先入観で区別しなくなる
- 欧米の伝統的な街並みに住める
- 就職活動でアピールできる
 - 海外大学生市場は伸びてる
- 行動力/主体性が身に付く
 - 自分を認めることができる
 - 周りの目が気にならなくなる
- 各分野でトップレベルの教育
 - 論文を英語で読む力がつく
- 学ぶための大学生活が送れる
 - 日本よりも健全なクラブナイトを楽しめる

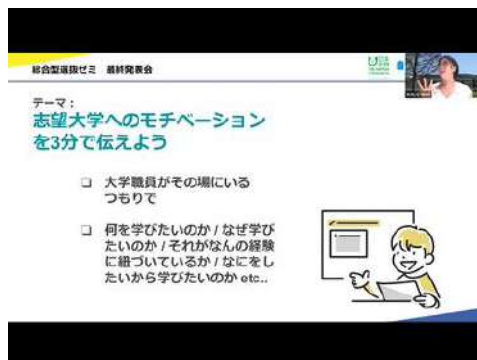
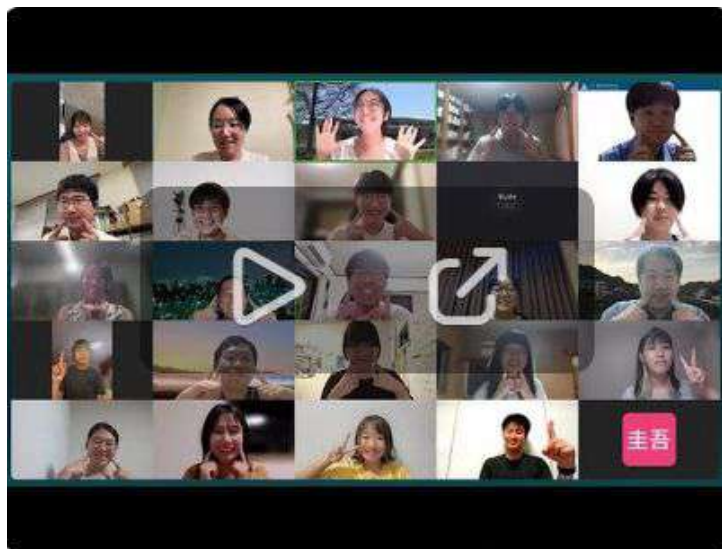
Disadvantages

- 渡航前までにある程度の語学力が必要
 - IELTS 6.5
- 国によっては莫大な費用が掛かる
 - 学費年400万+生活費+家賃
 - 英国までの往復目安30万
 - 物価が異なる 鞋の切り身2000円
- 簡単に日本への帰省が出来ない
 - 日本食が食べられない
- 家族/友達と疎遠になる
 - 成人式に出られない
- 差別じゃないけど区別はある
 - 自分の機嫌は自分でとる
- 自立が必要
 - 家事/自炊/健康管理/人間関係

最終発表会テーマ

- 自分のこれからの学びを考える上で大切にしたいことはなにか？
例) 学び方・学ぶこと・学ぶ場所 etc..
- それはなぜか？どうしてそういう考えになったのか？

- 受講生: 9名 (高校3年生)
- 教員: 4名
- 運営メンバー: 5名
- 地域・教育魅力化プラットフォーム: 3名

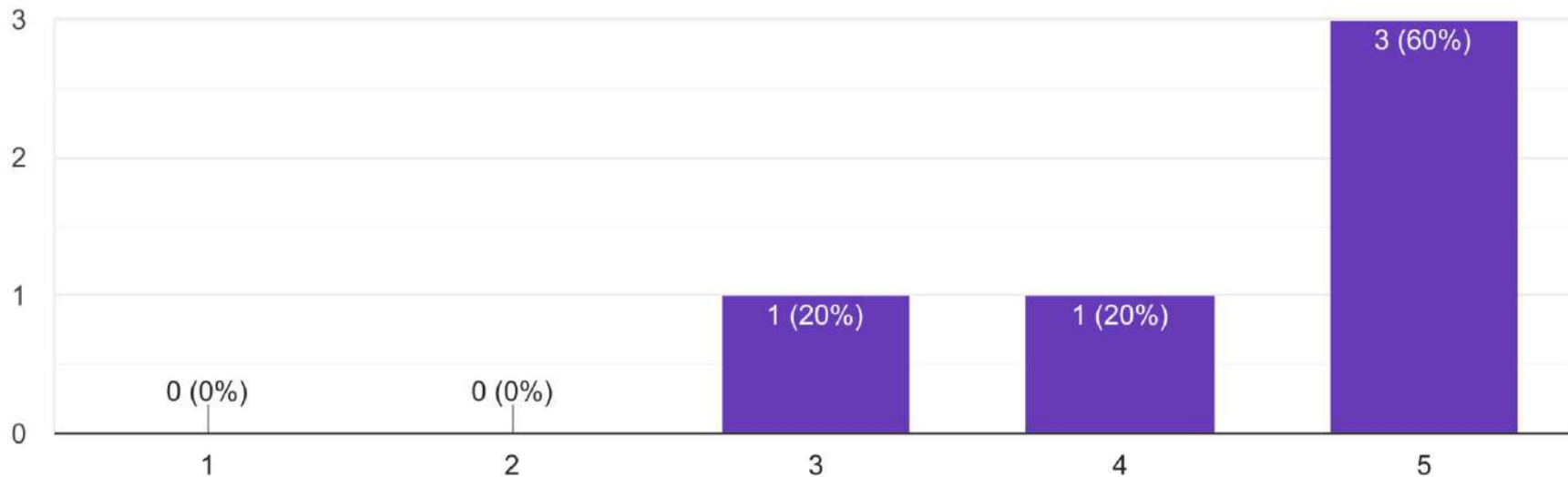


- このプログラムに参加しようと思った理由やきっかけを書いてください。
 - 行ってみたい大学や気になる大学が多く迷っている、今気になっている大学より更にいい大学を見つけないか、海外の大学等についても知れそうだから。
 - 色々な人と関われそうだから。
 - 将来やりたいことは多々あるがまだ明確に決められないから決めるためのきっかけになりそうだから。
 - 将来について考える際に、現役の大学生や働いている大人の方の声を聴いてみたいと思ったから。このプログラムに関わる方々はどのような大学生、大人なのかすごく気になり話してみたいと思ったから。
 - これまで僕は、限られた選択肢の中で進路を決めようとしていましたが、最近大学に行きたいという気持ちが大きくなってきました。ですが大学はたくさんあって、なかなか決めるにも難しかったです。また、海外留学などもしたいと思うようになってきて、海外の学校なども調べると山ほどあるので、自分にとって合っている学校を見つけないかと思うようになりました。そんな時、このプログラムを姉が教えてくれました。

- このプログラムへの期待や学びたい・得たいことを書いてください
 - クラスメイトとは将来や「学ぶこと」といった内容の話を本気でできないから、それらについて本気で語り合える同級生や大人と出会いたい。普段受けている授業が違う人と、教科的な「学ぶ」についてや、人としての「学ぶ」についての様々な意見や価値観を得たい。そして、それら異なる「学ぶ」を繋げさせるためにできることはないか考え、「教科学習と探究学習」の横断に活用していきたい。
 - 様々なところにいる高校生と関わって新たな価値観を手に入れたいと考えています。
 - いろんな進路に進んだ先輩からの話を聞いて進路の選択肢を広げ、自分が学びたいことを考えて、自分に一番あった進路を決めたいです。
 - ミラキャリへの参加を通して、自分よりも面白いことを考えている人にたくさん出会ってみたいです。人の感情や考えていること知るのが好きなのですが、中でも個人的な理念や考えを持ってアクションを起こしている人について知るのが大好きです。そうした経験がミラキャリを通してたくさんできたらいいと思います。また、副産物として、アクションを起こす人たちから刺激を受けて、自分の将来に具体的なイメージが持てたら嬉しいです。

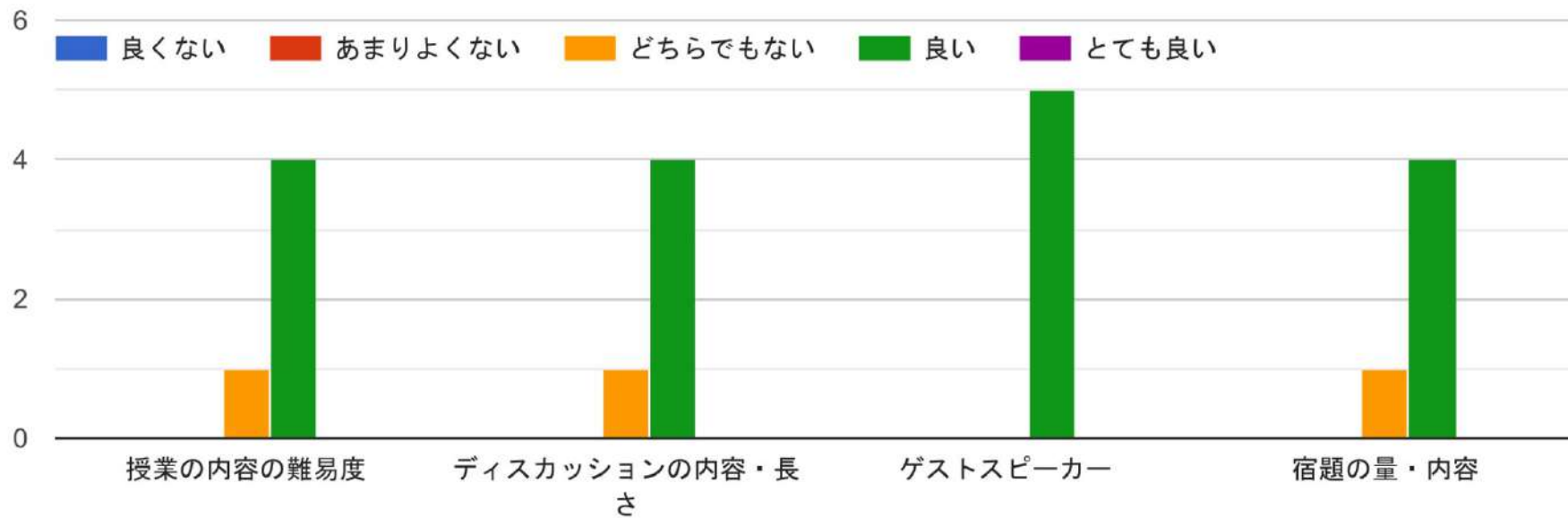
プログラム全体の満足度を教えてください（学びの量...ターのアドバイス・運営に関わる人たち、など）

5件の回答

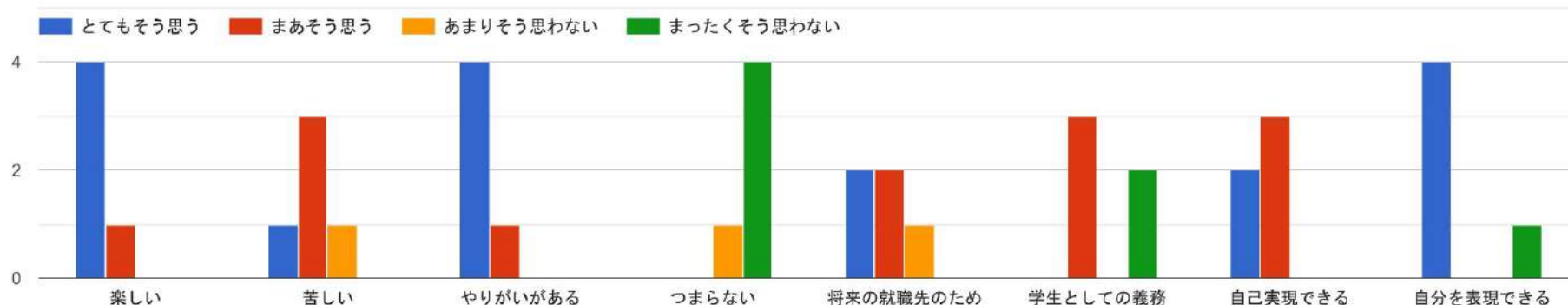


- プログラムに参加をしたみんなの感想をおしえてください
 - 私は、ミラキャリのプログラムを通して、挑戦することの大切さを学びました。どの大学の方もそれぞれが好きなことに積極的に取り組んでいてとても輝いて見えました。また、意見交換を通して、以前よりも話す力が伸びた気がします。やりたいことが決まっている人も、決まっていない人もぜひ1歩踏み出して参加して見てほしいです。
 - このプログラムは新たなことを沢山知ることができる。ということだけでなく、ずっと持っていた自分の力を新たな発見とし見つけ、それを未来にどう繋がるのか、そんなことを様々な経験をしている大学生や、大人と関わることで見つけられる。そんな場所でした。自分について深く考えることは普段生活していてあまり、ある機会ではないと思います。この場所はそんな自分について考えることが出来る場所、そして同じく自分について考えている仲間と大人がいることで刺激を受け、より沢山のことを考えられた。と感じています。そしてなにより、自分だったら1つの意見しか待てなかったこともこのプログラムの沢山の意見を聞いて新たな価値観を持てました。本当に素晴らしい場所で私自身を大きく成長させてくれたな。と感じています。
 - 月に何度か集まる授業が、立ち止まって物事を考えるいい機会になった。様々な人の価値観を聴くことによって、自分の思考や行動の変化に気づけた。

それぞれの項目についての感想を教えてください。

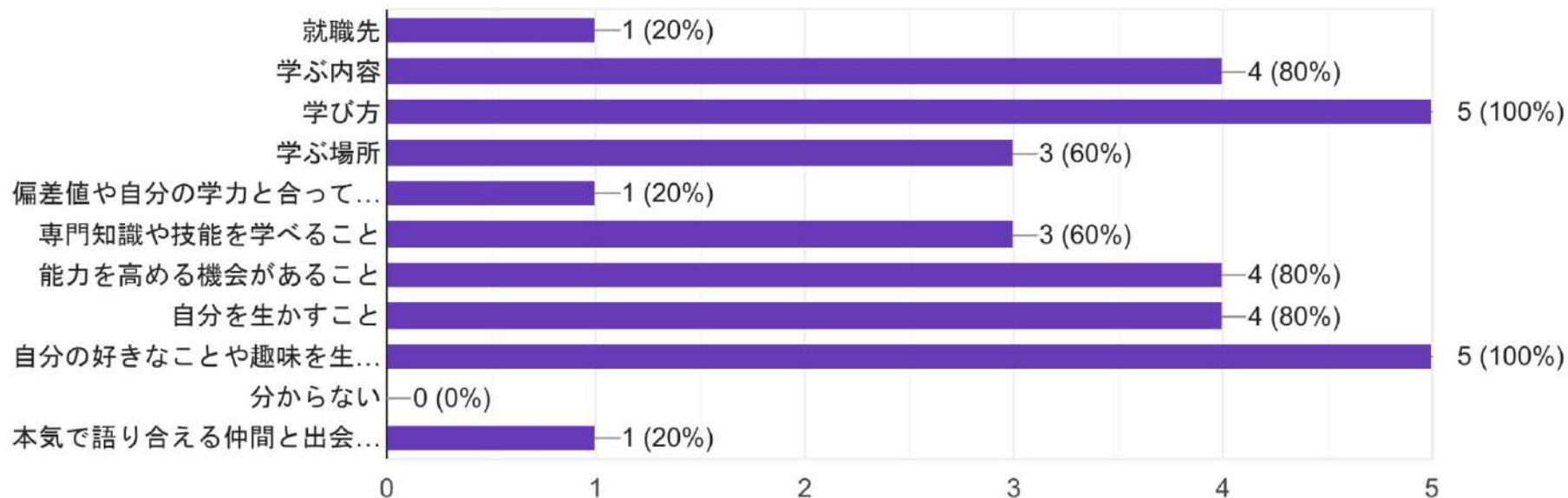


6. あなたにとって「学び」や「進路を考えること」はどのようなイメージですか？



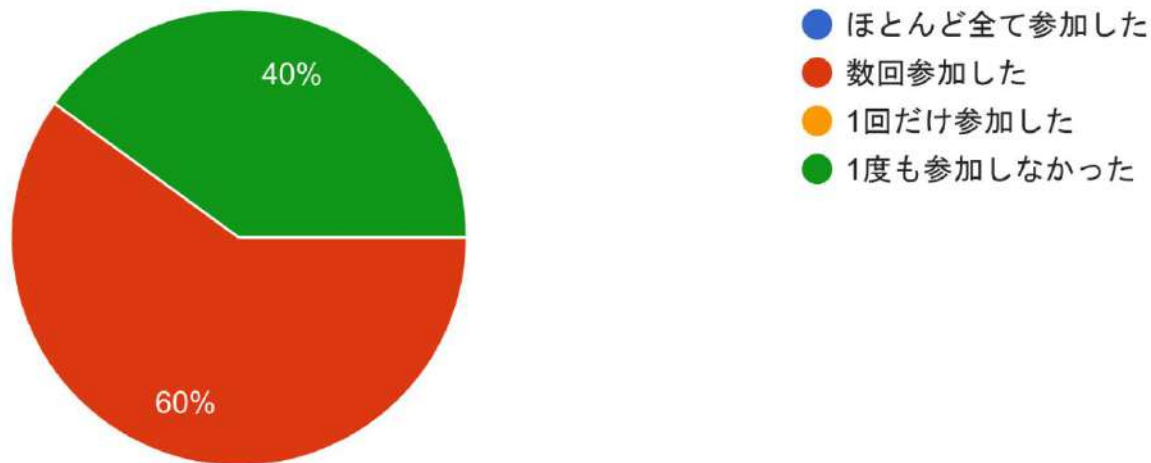
7. 進路を選ぶ際に、どのようなことを重視しますか。この中からいくつでも選んでください

5件の回答



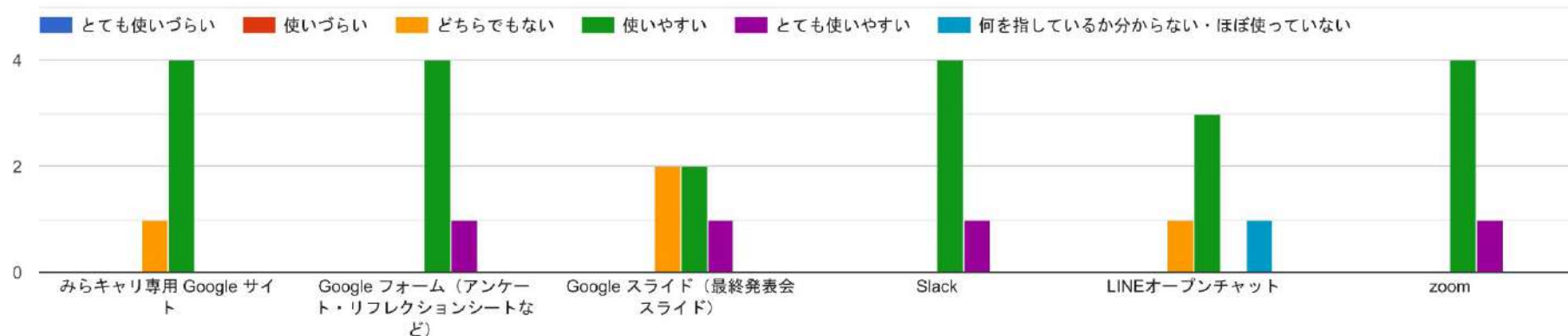
隔週で行われていたコーチングにどの程度参加していましたか？

5 件の回答



まなび探究コース プログラム後アンケート（一部抜粋）

それぞれの項目についての感想を教えてください。



- 運営メンバーふりかえり

- 大学生がメインゲストで大人はあくまでサポート&ファシリをする構成がよかった
 - 大学生の生の声が一番のモチベーションになった
 - 個別具体の大学生活や受験ストーリーを多様な視点で複数人がインプットすることが大切
- 「まなび」というものが高校生にとって抽象度が高くコースの名前を変えるなどもう少しわかりやすくすると期待値に合った生徒が参加する
- 大人と細かくコミュニケーションをとる時間はとれなかった
- どこまでを目指したプログラムにするのかを明確に参加者にも共有する必要がある
- 生徒のモチベーションの維持が難しかった

- 改善点・提案

- slackでの会話が活発化しづらく、ツールのみなおしが必要
 - slackだと生徒からの返信がクイックに返ってこず、または何度もリマインドしなくてはならなかった
 - 何度もリマインドしなくてもよい仕組みまたはツールのみなおしが必要
- 生徒とコーディネーターの関係の質を上げるための仕組みをつくる
 - チーム制
 - 生徒と相互やりとりが活発にできる場をもうける

実施報告 -総合型選抜ゼミ-



〓 ここがポイント 〓



自分のことを客観的に分析できる方法を学べる



「自分について」「学びたいこと」「やりたいこと」を
言語化するためのアドバイスがもらえる



実際に総合型選抜を受けた先輩と話せる



総合型選抜の選考書類が完成できる

！こんな人たちがみなさんをサポート！



地域・教育魅力化
プラットフォーム

Platform for Sustainable Education and Community

「自分たちの未来は変えられると信じ、自ら挑戦できる意志ある若者に溢れる地域・日本づくり」をビジョンに都道府県の枠を越えて、地域の学校に入学する「地域みらい留学事業」や、県単位での人づくり・人の流れづくりのモデルを創る「しまね事業」を推進する団体

メンター



山本竜也(ヤマタツ)

#総合型選抜指導
#教育コーディネーター



木村有希(ゆきむ)

#マイプロ
#探究学習デザイン

その他
総合型選抜に詳しい
コーチが
参加者をサポート

先輩大学生



慶応SFC等
総合型選抜を経験
した大学生が
毎回参加！

対象/ 定員

高校3年生 / 10名

授業日/ 期間

毎週水曜日 19:00~20:15
6月5日(水)~7月31日(水)

↳ レクチャー(30min)
グループコーチング(30min)
諸連絡 (15min)

レクチャーパート(19:00~19:30)

大学生ゲストが毎回参加！
総合型選抜の書類作成に役立つ
「自分のこと」を言葉にする方法を解説！



グループコーチング (19:30~20:00)

参加者の自分についての言語化を深掘りする
グループコーチング
-レクチャーのふりかえり
-総合型選抜の書類を書く



課題

次回の授業までに行う課題あり
自分のことをもっと深められる
ワークシートに取り組みます！

7/31(水)
最終
発表会
—
オンラ
イン

12/3
(火)
1・2
年生
との
交流会
(任意参加)

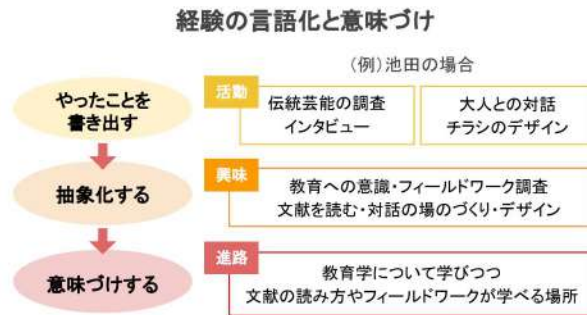
総合型選抜ゼミ レクチャー内容

NO	実施月	テーマ（仮称）	ゲスト大学生	内容イメージ
1	6/5	ガイダンス		このプログラムの概要趣旨説明 総合型選抜との関連性の話
2	6/12	自分の想いを言語化するSTEP	池田詩織 (関西大学)	自分の考えていることの言語化をする方法やヒントを学ぶ 自分のやりたいことと学びたいことを言語化をはじめる
3	6/19	自分を知る/分析する	堀田結子 (国際基督教大学)	自分の強み弱みを言語化する 自分の性格や性質を知る
4	6/26	先輩トーク①	池田りき (立命館アジア太平洋大学)	大学生の先輩から聞く進路や入試のアレコレ 高校の学び→大学の学問へ
5	7/3	過去をふりかえる:人生チャート②	富井優花 (慶応義塾大学)	自分の今までを振り返りながら、自分の強みになる経験やアピール ポイントを探す
6	7/10	先輩トーク②	川瀬ありさ (東京大学)	大学生の先輩から聞く進路や入試のアレコレ
7	7/17	未来の言語化: 自分のやりたいことを言葉にする	松田蓮 (慶応義塾大学)	自分のやりたいことを言語化する
8	7/24	未来の言語化:学びたいことを言語化する	池田詩織 (関西大学)	やりたいことから学びたいことを言語化する 学問との接続
9	7/31	ふりかえり/ 最終発表		ふりかえりと学びの発表 総合型選抜にむけて

池田詩織さん(関西大学)



6/12 自分の想いを言語化する STEP



進路決定までの4ステップ



7/24 未来の言語化: 学びたいことを言語化する



富井優花さん(慶応義塾大学)

7/3

過去をふりかえる:人生チャート②

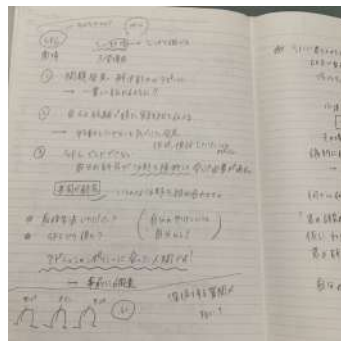


メタ認知

(自分自身を客観的に把握すること)

<私なりの手法>

- ①自分の経験を時系列に並べる
- ②原体験について詳しく書き出す
- ③自分の短所/長所を書き出す
- ④対話を繰り返し、自分を知る



自分の考えを
言語化することで、
考えを整理することが
できた!

①自分の経験を時系列に並べる

→自分の経験が整理されることで、原体験の発見に繋がる

<point>

自己理解に繋がりがりそうな内容をとにかく並べる!!

←受験期に私がまとめた「受験ノート」



堀田結子さん(国際基督教大学)



6/19 自分を知る/分析する

自己分析の3つステップ



①モチベーショングラフを作成しよう

現在の自分が大切にしている価値観や考え方はどんな経験と結びついているだろうか？



②人生の転換点を書き出そう

モチベーショングラフをもとに、人生の転換点となった出来事には何があるだろうか？

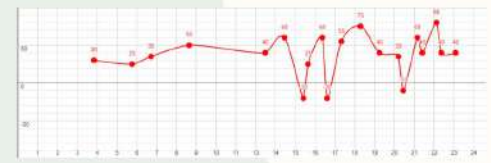


③言語化しよう

自分の価値観や考え方の変化を整理して、ChatGPTを活用して言語化しよう

①モチベーショングラフを作成しよう

過去から現在までの幸福度を線グラフで表し、当時の感情の流れを詳細に書き出す



②人生の転換点を書き出そう

自分の人生に影響を与えたできごと・人・転機を書き出す。また、その時に影響を受けた言葉やメッセージ（人生観・家族観・仕事観についてなど）も！

島根県津和野町への地域みらい留学

- (1) 中学・高校時代の不登校

完璧主義な性格が原因で、不登校を繰り返す「不登校＝負け組」映画や本の世界に閉じこもる

(2) 地域活性化プロジェクト

源氏香をきっかけに鉛字が好きなようになる
観光客だけでなく、地元住民にも広めたい！
源氏香 x 観光マップ『源氏香MAP』の作成

壁打ち相手として ChatGPTを活用しよう！

ChatGPTをインストール後、チャットボックスに質問を投げかけてみよう！

中学・高校で不登校を経験した。不登校は、社会に溶け込めなかった人間だから、人間とは違う生き方をするべきだ。思えば、映画や本の世界に閉じこもっていた。そんな時、母が「山行記」を読んでくれた。島根県津和野町へ進学することを決めた。津和野高校では、授業の一環で地域活性化プロジェクトに取り組んだ。それは、津和野町に伝わる源氏香という伝統的行事をもとに鉛字の町をテーマにしたこと。この魅力を観光客だけでなく、地元住民にも広めたい。そこで源氏香と観光マップの作成を行った。この活動を通して、私は何を学んだか。多様性を認められるように。人間性こそが成長の鍵だと気づいた。

この次に訪れるべき転換点は？

池田りき (立命館アジア太平洋大学)

6/26 先輩トーク①

04 入試の時期がやってきた...

別府の大学に進学を決意

- ・高校3年の夏まで志望校決まらずめっちゃ焦り担任と相談
- ・ヤマタツなどのAOプロを頼る
- ・3回受験チャンスがある活動実績を選択

04 立命館アジア太平洋大学 (APU) って？

学生の半分は国際学生

中国・韓国・インドネシアなどアジアの学生を中心に世界各国の留学生がいる

環境や観光・経済学などを学べる

外国の人と友達になれる！！



05 入試に大切なこと

人に助けを乞う

自分はヤマタツなど様々な人にお願いで面接練習や志望理由書を書き上げた。頼れる人には全音的に頼ろう！

様々な入試方式がある

勉強で入る形や小論文を書く形、自分のようにこれまでの活動実績を面接で話すなど、自分に合った入試方法を見つけよう！

活動をまとめる

これまで何か活動や試験で経験そうな事があれば必ず事細かにまとめて頭を整理しよう！
色々な人に助けてもらうのもおすすめ！

目標を設定しておこう

大学生活で何をしたいかを明確にしておけば、入試に役立つかも
スタートダッシュも切りやすい！



7/10 先輩トーク②

基本情報

名前: 川瀬ありさ

出身地: 東京都

高校: 鳥根県立津和野高等学校

(「地域みらい留学」をしていました)

大学: 東京大学 前期教養学部 文科三類 教育学部推薦生



どうして東大教育学部を選んだのか

3年間の津和野での生活・探究活動を通して...

人とのつながり、助け合い

人と話すことによって、「自分」が見えてくる感覚

↓

こういう機会がもっとあればいいのに!

↓

社会教育・生涯学習／社会福祉



現在行っている課外活動

③東大のFS(フィールドスタディ政策)参加

・東大が学生に向けて行っている政策の一つ

・地方の自治体の課題解決に対して、

学生が考え貢献するプログラム

・「香川県坂出市の認知症対策について」

・地域社会での居場所づくり、つながりのあり方について考える機会

受験準備時期

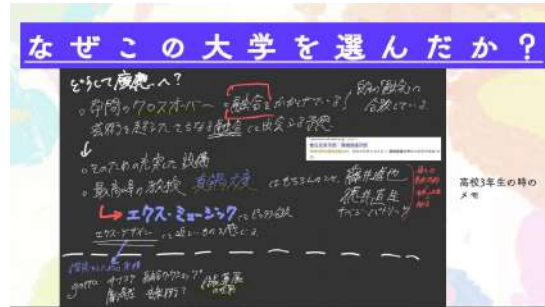
自分の主張・ポスターの構成について、考えている時のメモ



松田蓮さん(慶応義塾大学)

7/17

未来の言語化：自分のやりたいことを言葉にする



言語化するための9の手段

①大学向けの「やりたいこと」の言語化

- 好きなことから拡張してみる
- 学んでみる
- 出会ってみる
- 話してみる
- とりあえずやってみる
- 旅をしてみる

②人生向けの「やりたいこと」の言語化

- サイクルを回してみる
- 一度決めてみる
- やっぱりととりあえず旅をしてみる

テーマ:

志望大学へのモチベーション を3分で伝えよう

- ❑ 大学職員がその場にいる
つもりで
- ❑ 何を学びたいのか / なぜ学び
たいのか / それがなんの経験
に紐づいているか / なにをした
いから学びたいのか etc..



テーマ:

志望大学へのモチベーションを 3分で伝えよう



発表者

3分

- ①自己紹介 (名前 / 学校名)
- ②志望大学へのモチベーション
 - 何を学びたいのか
 - なぜ学びたいのか
 - それがなんの経験に紐づいているか
 - なにをしたいから学びたいのか etc..

2分

- 発表に対する質問 (1問)に答える
- zoomチャットの中から1つピックアップ
 - 大学の面接官から聞かれていると思って回答

発表者以外

zoomのチャットに発表者への質問を入力

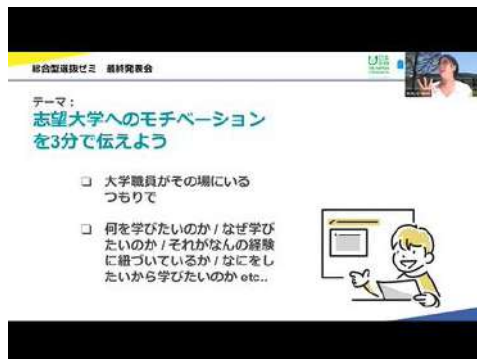
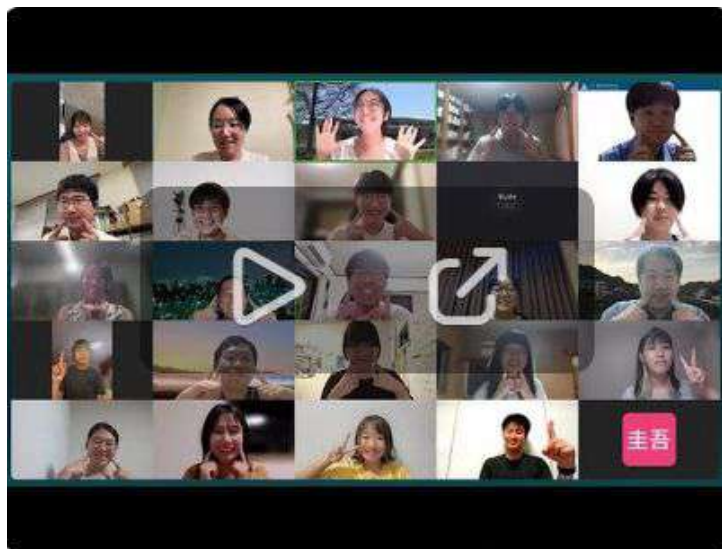
- 大学の面接官になったつもりで質問を考える
- できるだけたくさんの質問を入力

激励コメントを入力

- 発表者の褒めポイントをチャットに入力
- 発表者へのエールを送る

- **最終発表のふりかえり**
 - 発表してみての感想
 - 記入された質問をふりかえる
- **プログラムのふりかえり**
 - 自己探究プロフィールシートをみながら ...
 - 自分の成果・変化はなに？
 - 新しく気付いた・学んだことはなに？
- **明日からのアクション**
 - 明日からまずどんなことに取り組んでいくか具体的に決めよう！

- 受講生: 9名 (高校3年生)
- 教員: 4名
- 運営メンバー: 5名
- 地域・教育魅力化プラットフォーム: 3名



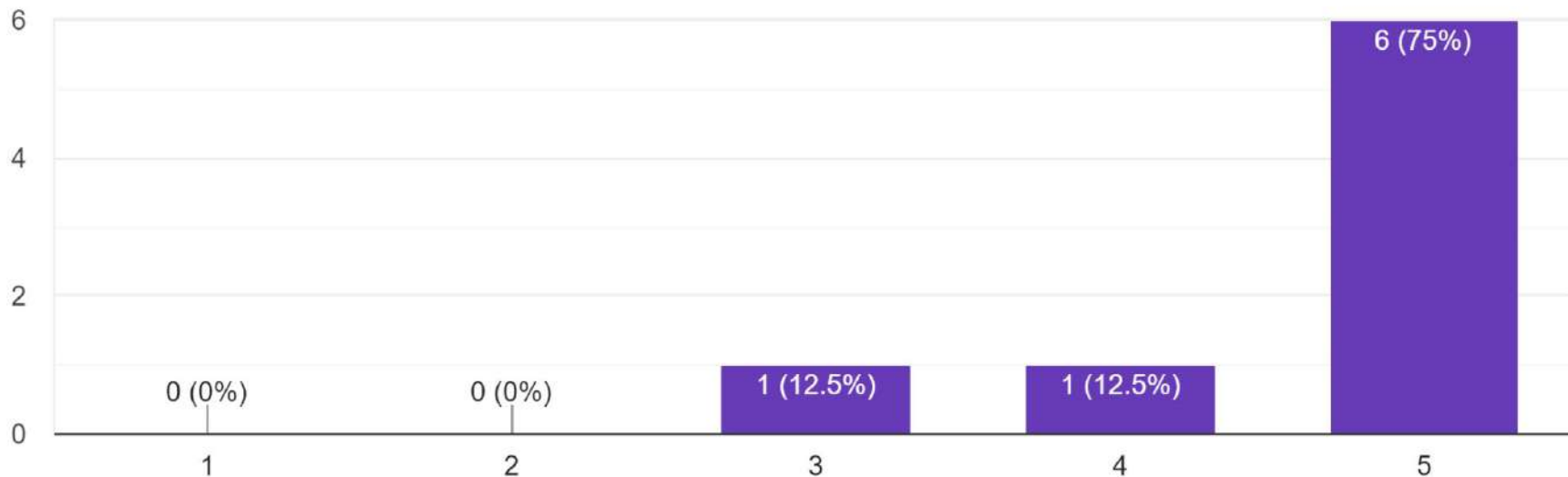
- なぜ総合型選抜入試を希望しているのか書ける範囲内で記載ください。
 - 学力だけではなく、人間性などを総合的に評価してもらえるためです。
 - "探究活動に力を入れてきた自分の高校生活から、自分の強みは探究力と物事に取り組む時の熱意であると考えています。そう言った自分の強みを生かして戦える受験方式が、総合型選抜だと思っているので、希望しています。
 - 私の志望校は総合型選抜入試の枠が圧倒的に大きいため。合格後から大学入学までの期間を利用し、将来の目標に向けた資格取得や活動をしていくため。
 - 自分自身の見つめ直しに繋がると考えたから。自分にとって良い経験になると考えたため。
 - 自分の学力では一般の試験を通過することが厳しそうだが、夢を叶えるために難関大学に合格したいから。

- 本プログラムで得たいことや目標をかいてください。
 - 志望理由書を書くうえで大切なことを学び、自分のこと、学びたいこと、未来の生き方を整理し、志望理由書を端的に描けるようになりたいです。
 - 3年間自分の好きなこと、ビビッときたことに気持ちの向くまま取り組んできました。そのせいでいま、自分の強みはなんなのか、自分が人に誇れるものはなんなのか、自分が将来何かなりたいのか。全く分からなくなり、ずっと迷子です。とにかく迷子です！！
 - プログラムのなかで自分の3年間を言語化し、磨いていくことで、綺麗に取り繕った志望理由ではなく、私にしかないと自信を持って話せるような志望理由、活動経歴をまとめて作っていきたいです。
 - 自分について知る。自信を持って面接を受けられるようにする。
 - 現時点では自分の内面を言葉にする能力など、総合型選抜に必要なものが不足しているため、このプログラムを通して、難関大学に合格するために必要な言語化能力を身につけたいです。それとともに、受験を経験し、実際に大学で学んでいる先輩方との交流で、進路に対する悩みや不安を解決し、自信を持って受験に臨めるようにしたいです。

総合型選抜ゼミ プログラム後アンケート（一部抜粋）

総合型選抜ゼミの満足度を1~5でおしえてください

8 件の回答



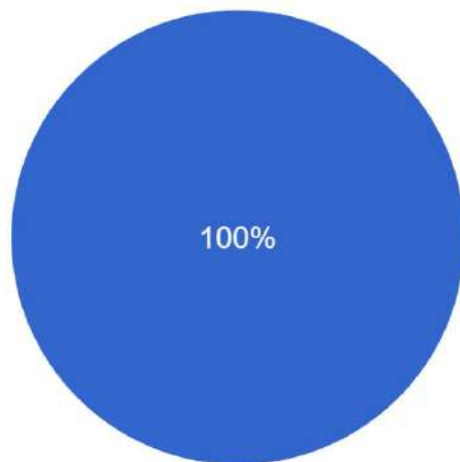
● 満足度の理由

- 自己分析できる機会を与えてくださった上に、とことん向き合ってくださいだったからです。
- 「総合型を受験する」という意識を、ゼミを通して割と早い段階で持てたため、日常生活で考えることが増え、割とすんなりと志望理由書等の構想が持てたと思います。
- また、大学生のアドバイスを聞け、少し緊張感がほぐれました。（面接は漫才だと思え!!や、自分を知ってもらえるチャンス!!など）
- インターネット上という慣れない活動で不安が最初はいっぱいだったけど、雰囲気非常に良かったため、自分を前に出すことが出来たから !!
- 先輩方の経験などから、総合型選抜の具体的なイメージが持てたし、多様な考え方も得られたから。
- スライドや経験談のおかげでスタートダッシュに困ることが無くて、助かったから。
- 個人の相談もちゃんと対応してくれたから。

- 総合型選抜ゼミを通して新しく学んだこと・気づいたこと・成長したこと等あればおしえてください
 - 自分が本心で思っていることがわかるまで追求できる2ヶ月で、自分自身に発見だらけの時間でした。楽しかったし、苦しかったです、何よりも自分の成長につなげてくださったゆきむとやまたつ、生徒のみんなに感謝したいです。
 - 自分の強み、弱み、やりたいこと、大切にしている価値観、過去の体験から学んだことなどを考え、言語化することが出来るようになった。
 - 「総合型選抜は自分を知ってもらえるチャンス !!」と聞いて、今までそういった考え方をしたことなかったなと思った。また、総合型選抜は、過去の自分をじっくりと振り返り、今後どのような人生を歩みどのような人間になりたいのかを考えるので、今後の人生をより充実したものにするなと思った。
 - わからないことや不安なことを恥ずかしいこととして自分 1人で抱えるのではなく、分からないことを言葉にして人に相談することが大切だと気がつけた。

総合型選抜ゼミを通して自分のことが、以前より明確に伝えられるようになりましたか？

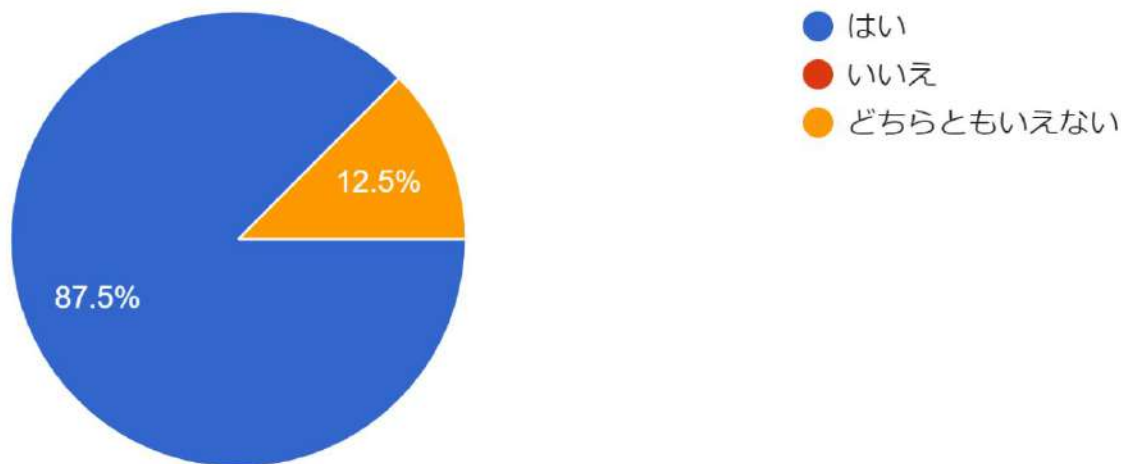
8件の回答



- はい
- いいえ
- どちらともいえない

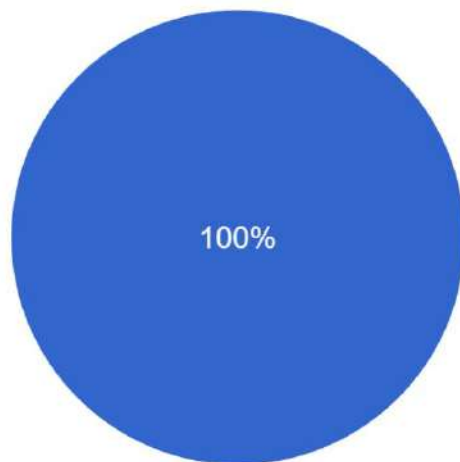
総合型選抜ゼミを通して総合型選抜入試や大学についてより詳しく知ることができましたか？

8件の回答



総合型選抜ゼミを通して自分の学びたい分野や将来進みたい方向が以前より明確になりましたか？

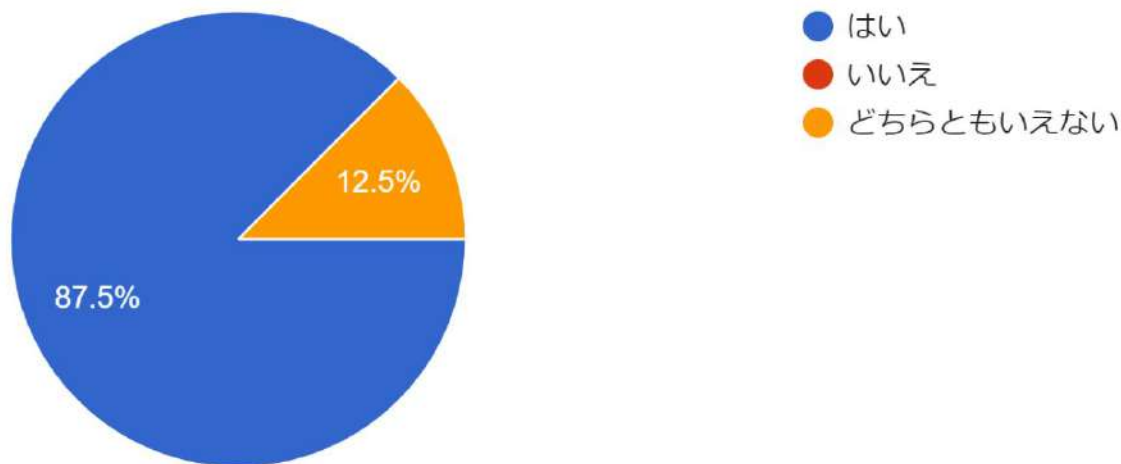
8件の回答



- はい
- いいえ
- どちらともいえない

ゼミの内容はあなたの学びたいことのニーズに合ったものでしたか？

8件の回答



- プログラム内容・企画のふりかえり

- 大学生がメインゲストで大人はあくまでサポート&ファシリをする構成がよかった
 - 大学生の生の声が一番のモチベーションになった
 - 個別具体の受験対策や受験ストーリーを多様な視点で複数人がインプットすることが大切
- 総合型選抜入試を受験する生徒同士が交流することで、お互いを高めあえたり同じ種類の目標に向かって取り組むことができた
- 大人と細かくコミュニケーションをとる時間はとれなかった
- どこまでを目指したプログラムにするのかを明確に参加者にも共有する必要がある
- 学校との接続や引継ぎのやり方を工夫する

- コーディネーターは社会人でなく大学生もアサイン
- 8月までをプログラム期間とする
 - 志望理由書を書き上げるまでの伴走支援
 - 7月の最終発表会終わってから2回は1on1する
- どこまでのスキルセットが身に付くかの期待値調整は事前に参加生徒と必要
 - プログラムの状態目標のすり合わせ
- 学校との引継ぎのやり方の仕組化